

京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想

令和4年3月

京 丹 後 市

網野庁舎については、旧網野町役場として昭和43年6月に竣工し、平成16年4月の6町合併による京丹後市発足後も分庁舎方式により、庁舎として活用されてきました。約50年の間、市民の方々に親しまれてきましたが、経年による老朽化により網野庁舎の解体を決定し、平成30年12月に解体の実施設計に着手。令和2年6月に解体工事が完了しました。

一方で、跡地の有効活用について市から区長会へ検討を依頼。平成30年4月に網野町区長連絡協議会に「庁舎・跡地検討チーム」が発足。その後、「庁舎・跡地検討チーム」を発展解消し、あみのみんなのスペース未来ラボ（通称：あみラボ）が発足。検討を重ねた結果、最終的に、網野町区長連絡協議会が網野庁舎跡地活用構想（提言）をまとめ、令和2年3月に市長に提言書を提出しました。

本市を取り巻く状況は、人口減少や少子高齢化の進行、空家の増加、若年層の流出（進学や就職で離れたまま帰ってこない）等の課題がある中、網野庁舎の取り壊しにより中心市街地に広大な空き地が出現し、更に活気を欠く状況となっています。

しかし、網野庁舎跡地の出現は、地域拠点として活用することで近隣施設との相乗効果により地域の賑わいを創出できるチャンスでもあります。当該跡地は網野町の中心市街地に位置し、近隣には金融、郵便、医療機関、スーパー、小規模店、地場産業振興センター、市民局、図書館、体育センター等、日常生活に必要な諸機能が集積している立地のため、地域の方が集まりやすく利便性のある場所となっています。

そこで、網野庁舎跡地について、地域拠点としての活用を検討し、京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想を策定するため、京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議を令和3年10月に設置。検討会議では、網野町区長連絡協議会から提出のあった網野庁舎跡地活用構想（提言）を踏まえながら、整備内容や施設を活用した地域の活性化について検討を行い、基本構想をとりまとめました。

網野庁舎跡地は中心市街地に位置し、アクセスしやすい立地となっている。

<位置図>

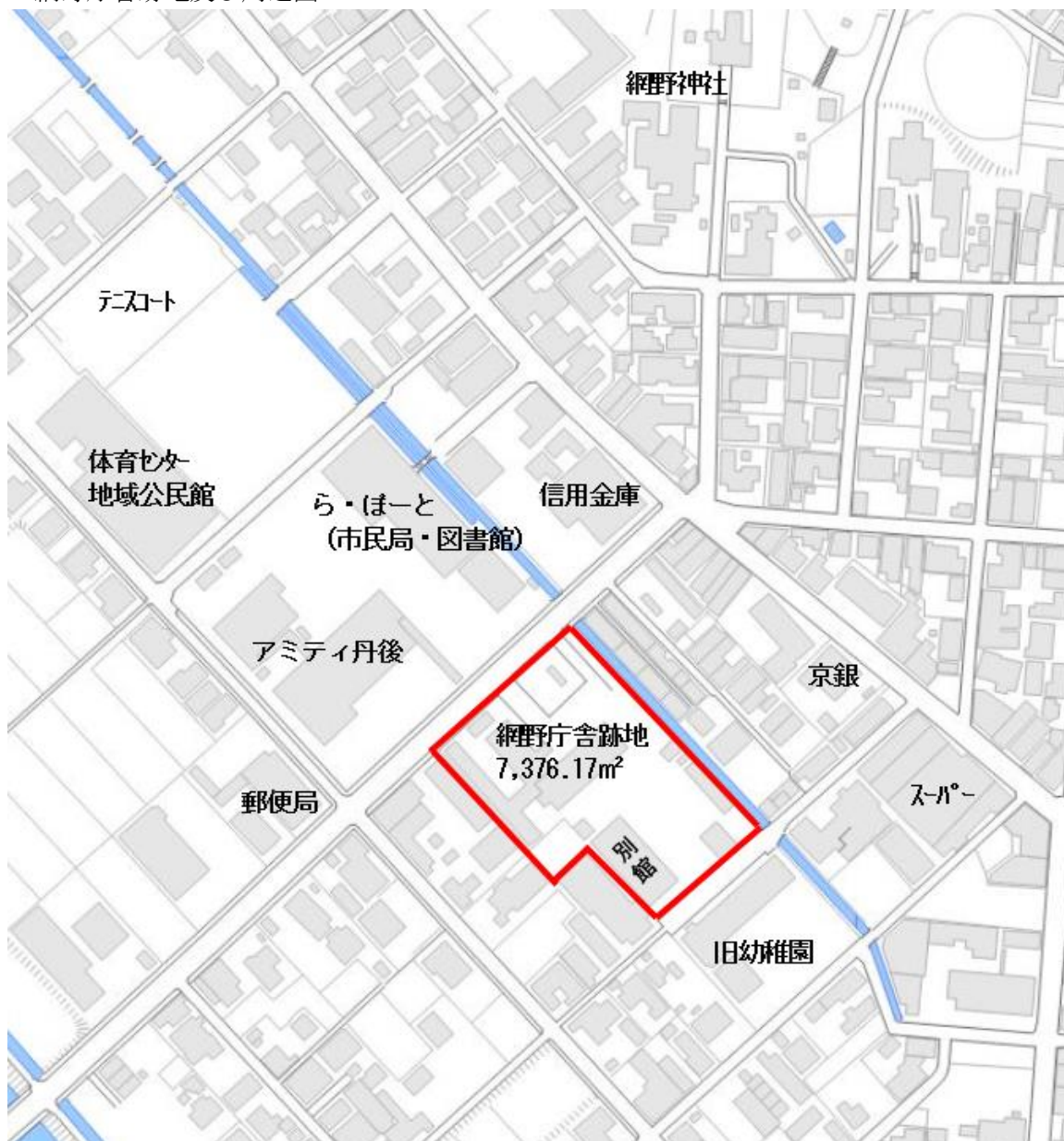


<公共交通マップ>

- ・最寄り駅：網野駅（京都丹後鉄道）
- ・最寄りのバス停：アミティ・網野庁舎前（丹海バス）



<網野庁舎跡地及び周辺図>



※網野庁舎跡地 7,376.17 m² (台帳面積)

(1) 跡地活用の基本理念

人口減少、核家族化が進み世代間や地域間のつながりの希薄化や、進学や就職により転出した若年層が帰ってこない状況を踏まえ、幼少期からの「ひと」とのつながりや関わりを大切にして郷土愛を育み、故郷に帰る原動力につなげていく場所、市内外の「まち」をつなげて交流人口・関係人口の増加を目指していく場所、網野銚子山古墳に代表される「歴史」文化等の地域資源とのつながりを発信していく場所として、跡地活用の基本理念を次のとおり定めます。

「ひと」と「まち」と「歴史」がつながり

“いきいき” “わくわく” まちの未来を育む交流拠点

(2) 施設整備の基本方針

跡地活用の基本理念を具現化するため、施設整備の基本方針を次のとおり定めます。

- ① まちの協働・共創と学び合いの場
- ② 多世代交流（子どもからおじいちゃん・おばあちゃん）の場
- ③ 子育て親子の交流と遊びの場
- ④ 若者が未来へとチャレンジする場
- ⑤ まちの歴史と魅力を発信する場

(3)事業方法

①施設運営

効果的な施設運営として、民間事業者のノウハウを活用して経費の縮減や利用者のニーズに対応し、質の高いサービス提供が期待できる「公設民営」等、市民主体の施設運営が行えるよう地域団体・組織等と検討を行います。

②市民の参画

基本設計等業務の委託業者の選定については、プロポーザル方式を予定し、選定過程や設計段階における市民の参画を検討します。加えて、施設の愛称を募集する等、市民の関わりを促す取り組みも検討します。

③共用開始までの期間の活用

供用開始までの期間を活用して、網野庁舎跡地等を利用したイベント等の実施を検討し、地域住民の参画や機運醸成を図ります。

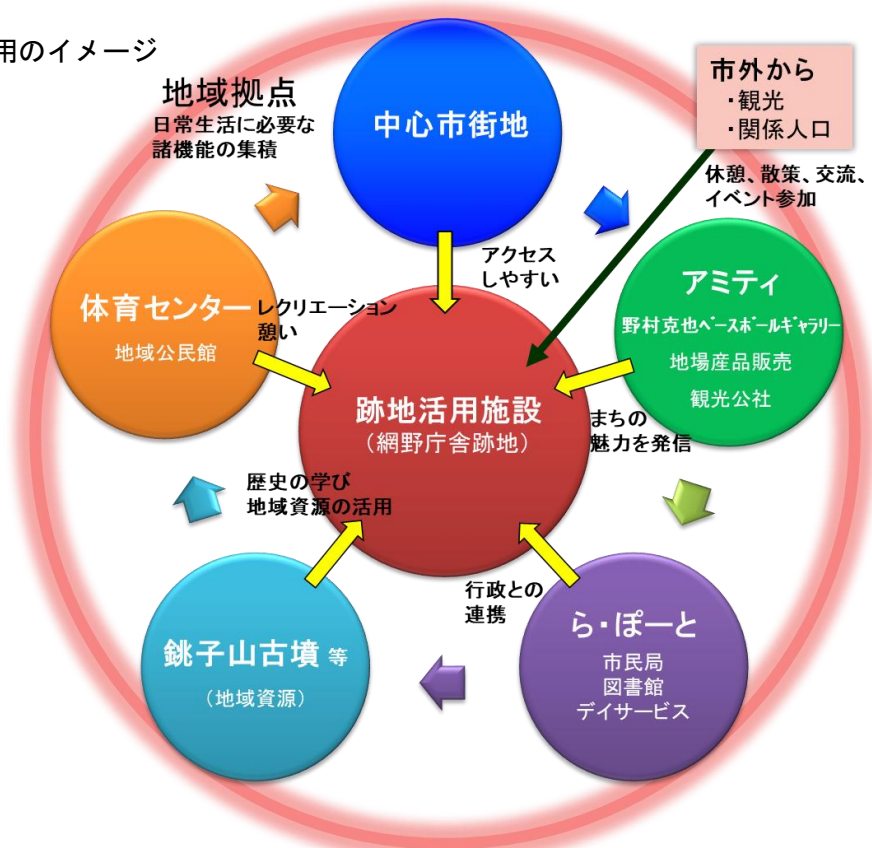
④情報発信・意見聴取

本基本構想について市民への理解と周知を図るため、積極的な情報発信を行うとともに、網野町区長連絡協議会と連携しながら事業の進捗を図り、様々な機会をとおして市民の意見を聴取する工夫とあわせて、将来の担い手となる高校生等の若い世代の意見・アイデアにも傾聴しながら事業を進めていきます。

(4) 跡地活用のイメージ

網野町の中心市街地に位置し、アクセスしやすく、近隣施設との連携により相乗効果が図れる立地です。跡地活用のイメージを示します。

① 施設利用のイメージ



交 流

- ・多世代交流の場
- ・子育て世代の交流の場
- ・住民自らが地域について話し合える場

賑 わ い

- ・来る人がワクワクして集える場
- ・子どもが安心して遊べる場
- ・目的に合わせた多様な使い方ができる場

チャレンジ

- ・若者等のアイデアを実現に向けてチャレンジできる場
- ・チャレンジしたい人とサポートとしてくれる人を繋げる場

観 光

- ・魅力あるまちを発信する場
- ・市外の人にも気軽に来てもらえる場
- ・交流人口、関係人口を創出する場

歴 史

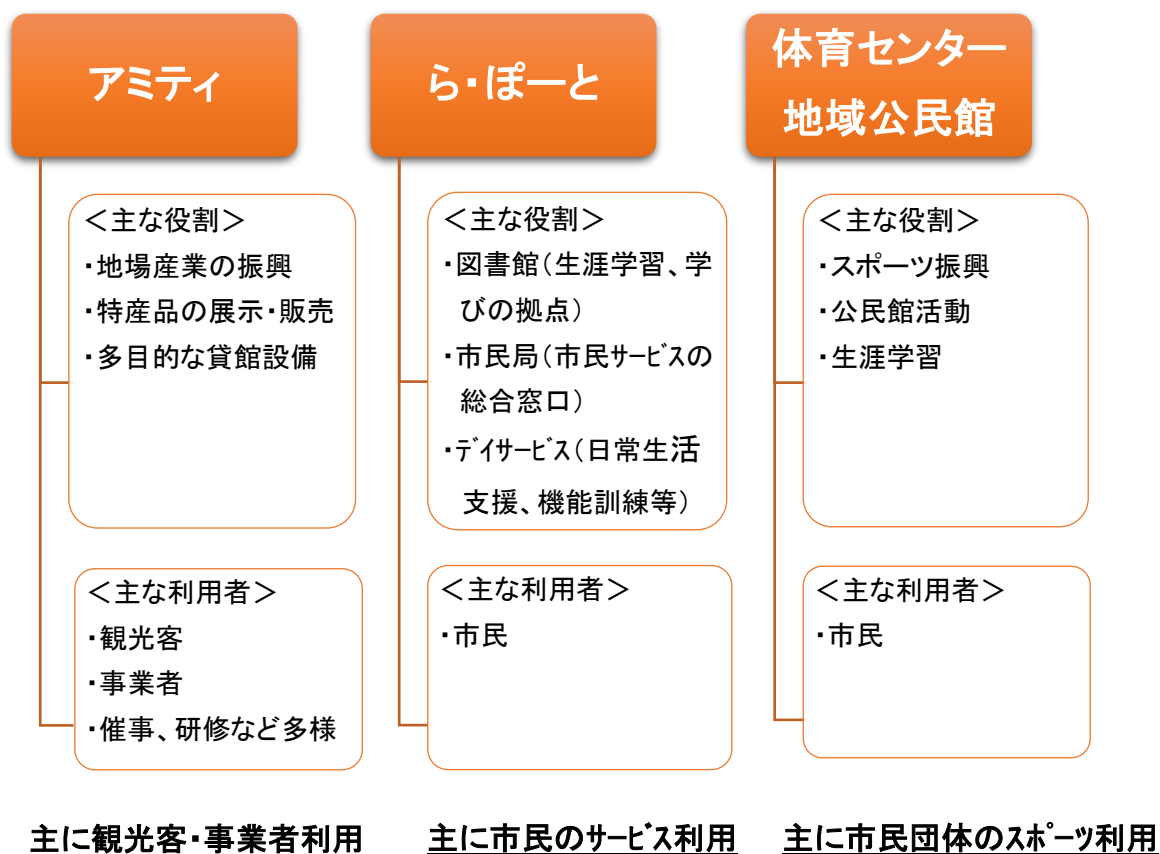
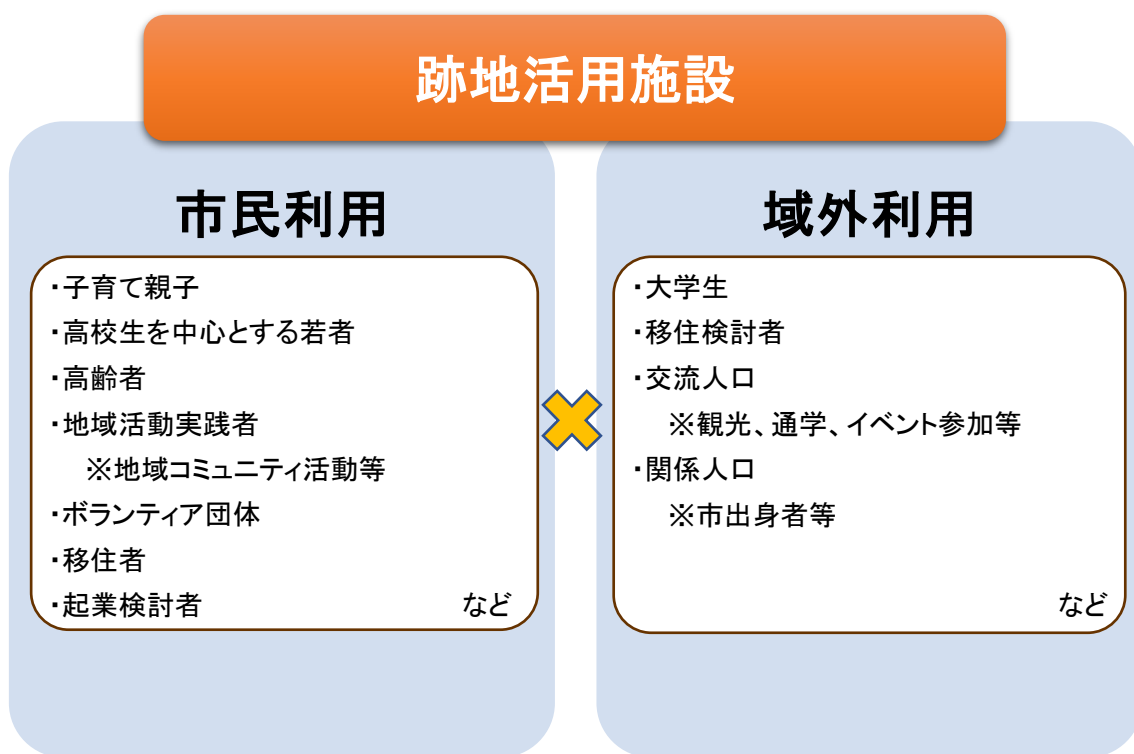
- ・網野銚子山古墳等の地域資源を活用する場
- ・歴史文化の学びの場

運 営

- ・将来を見据えた持続可能な運営
- ・各種団体 × 行政

②施設利用者のイメージ（ターゲット層）

子どもから高齢者まで多世代をターゲットとし、憩い、学び、挑戦といった様々な角度から利用できる「多世代交流拠点」として活用することで、交流から生まれる“いきいき”“わくわく”を活力に、まちの活性化を図ります。



(5) 跡地活用施設の内容

跡地活用の基本理念、施設整備の基本方針を踏まえ、整備する施設を「(仮称) 市民交流広場」と「(仮称) 市民交流センター」とし、施設の機能・設備については、今後進める基本計画・基本設計の中で、建築等の専門的知見、利用者の利便性や周辺施設との連携、整備面積、整備費用等を総合的に勘案し、各機能・設備を決定していくこととします。

加えて、網野町のシンボリック存在として網野銚子山古墳がイメージできるようなインパクトのある工夫（建物外観、名称、広場の仕掛け等）も検討することとし、まちの地域資源を活用します。

施設の整備イメージ

<屋外・屋内共通>

○誰でも集える『第三の居場所』

自宅、職場や学校から離れて気軽に集える、交流ができる居場所

<屋外>

○あみの広場

『子ども“遊び”スペース』

『スポーツ“エンジョイ”スペース』

『こころとからだの“くつろぎ快適”スペース』

<屋内>

○親子同士楽しめる『子育て交流スペース』

○いろいろな活動や打合せができる『コミュニティルーム』

○パソコンを持って気軽に寄れる『コワーキングカフェ』

新しい働き方にも対応し、利用者同士のコミュニケーションも生まれる

○みんながチャレンジする『あみのスペース』

出会い、交流、音楽、ダンスなどみんなが自由に使える交流・チャレンジスペース

○みんなで使える『あみのキッチン』

料理教室からご飯会など食を通した交流スペース

○まちの魅力と歴史を発信『あみのコンシェルジュ』

施設・設備の検討例

① (仮称) 市民交流広場

視点・機能	目 的	施設・設備の検討例
交流 賑わい	子育て世代や多世代の交流を図り、地域子ども達が安心して遊べる場、また、来る人がワクワクして集える場の創出。	・スポーツ施設（3X3 バasketコート・ボルダリング・スケートボード） ・遊具施設（屋根付き、砂場、アスレチック等）

視点・機能	目 的	施設・設備の検討例
		・芝生広場（ベンチ、夜間照明） ・緑化スペース（桜、紅葉） ・屋外ステージ ・E V充電スペース ・朝市スペース ・W i - F i 設備
チャレンジ	アイデアの実現に向けて実験・実証ができる場であり、チャレンジしたい人とサポートしてくれる人を繋げる場の創出。	・コンテナハウス（キッチンカースペース）
観光	市外の人にも気軽に来てもらえる場にする事で、交流人口、関係人口を創出。	・駐車場、駐輪場 ・バスターミナル

②（仮称）市民交流センター

視点・機能	目 的	施設・設備の検討例
交流 賑わい チャレンジ	子育て世代や多世代の交流を図り、住民自らが地域について話し合える場等、多様な使い方ができる場を創出。また、アイデアの実現に向けて実験・実証ができる場であり、チャレンジしたい人とサポートしてくれる人を繋げる場を創出。	・子育て交流スペース ・交流スペース（憩いのスペース） ・I Tスペース（プログラミング学習、コワーキング） ・スタジオ（防音、音響設備、壁面鏡 等） ・キッチン ・フリースペース ・網野版 roots ・講座、集会室
観光 歴史	魅力あるまちを発信する場であり、網野銚子山古墳をはじめとしたまちの誇る地域資源や歴史文化を発信する場を創出。	・網野銚子山古墳を望む展望台 ・歴史展示スペース ・E バイク、レンタサイクル ・観光ガイド
運営 コーディネート	集い交流する場として市民の参画による運営を目指すとともに、積極的な交流や連携を促す。	・ユニバーサルデザインに配慮した多目的トイレ等 ・エレベーター ・W i - F i 設備 ・カフェ・物販等公募（自動販売機も含む） ・管理事務室の設置

③その他

網野庁舎跡地の敷地内にある消防車庫について、現況の位置では跡地活用に支障をきたすことが考えられるため移転することとし、敷地内での移転を優先的に計画すること

とします。また、敷地内にある積雪計、地震計、都市下水路ポンプ施設については、現況の位置のままでも跡地活用への影響は少ないと考えられるため、存置する予定とします。

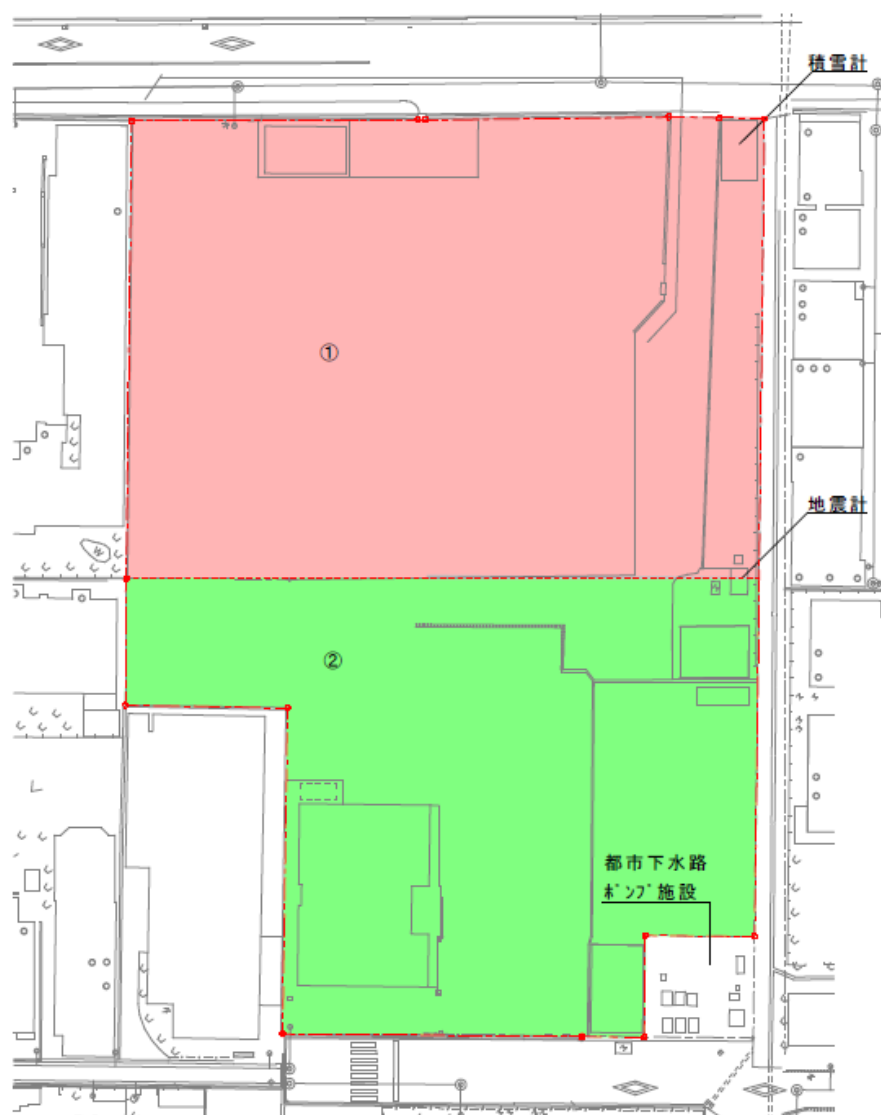
交通アクセスについては、敷地内にバス停の設置を検討するとともに、都市拠点と地域拠点を結ぶ交通アクセスと地域内の交通アクセスのあり方について、利用者の利便性が図られるよう引き続き検討していきます。

広場利用者のトイレの使用について、外からも使いやすいような工夫を検討することとし、加えて大規模災害時に被災した方々が利用できる設備（かまどベンチ、マンホールトイレ等）も検討していきます。

なお、旧網野幼稚園についてはこの基本構想には含めないものの、そのあり方についても検討していきます。

(6) 敷地エリアと建物の想定面積

対象用地を下記のとおり①、②のエリアに分け、それぞれに適した施設の配置、整備の検討、また「(仮称) 市民交流センター」の延床面積については1,200 m²程度を想定しながら、実施予定のプロポーザルによる提案も踏まえ、建物の向きを含めた施設の配置、整備内容等、柔軟に決定していくこととします。



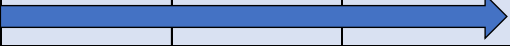
① (仮称) 市民交流センター・駐車場・消防車庫等エリア (約 3,940 m²)

② 遊具・芝生広場等エリア (約 3,040 m²)

(7)事業スケジュール

事業は庁舎増築棟整備にかかる網野庁舎別館の解体スケジュールに関係することから、事業スケジュールは現時点での予定であり、今後、変更となる場合があります。

事業スケジュール（予定）

	R3	R4	R5	R6	R7
○基本構想					
○運営組織づくり・育成					
○運営者の選定					
○基本計画・基本設計					
○実施設計					
○建設工事					
（参考） 過疎対策事業債					

▶ かまどベンチ

災害時に煮炊きができる「かまど」として活用できるベンチ。



(通常時)



(災害時)

▶ コワーキング

会議室や打ち合わせスペース等の場所を共有しながら、それぞれが独立した仕事を行う共同ワークスタイルを指す。

▶ コンシェルジュ

案内人、相談窓口。

▶ コンテナハウス

コンテナを利用した建築物。

**▶ 第三の居場所**

家や職場、学校とは離れた3番目の場所（サードプレイス）で、責任や義務から解放され、気軽に会話や交流を楽しめる場所。

▶ プロポーザル方式

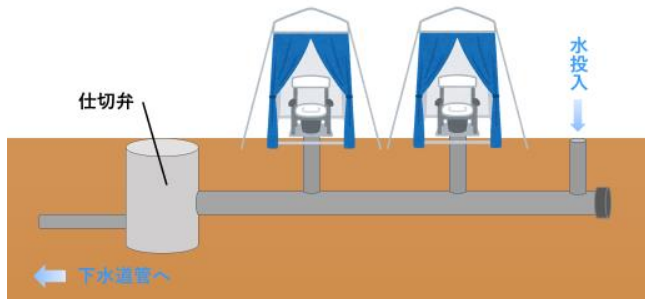
業務の委託先や建築物の設計者を選定する際、目的に対する企画を提案してもらい、優れた提案を行った者を選定する方法。

▶ ボルダリング

自然の岩や人工壁を自分の身体だけで登るスポーツ。

▶ マンホールトイレ

下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するもの。



▶ ユニバーサルデザイン

すべての人のためのデザイン、みんなにやさしいデザインという意味で、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、あらかじめ誰もが利用しやすいようにデザインする考え方。

▶ Eバイク

スポーツ走行（速い速度、長距離）が可能な電動アシスト機能を搭載した自転車。



▶ EV 充電スペース

電気自動車の充電スペース。



▶ **IT**

コンピューターとネットワークを利用した技術の総称。

▶ **roots**

京丹後市未来チャレンジ交流センターの愛称。高校生を中心とした若い世代と地域の方が集い、交流や新たなチャレンジができる居場所として 2020 年に峰山町でオープンした施設。



6

関係資料

- 資料 1 網野庁舎跡地活用構想（提言）
- 資料 2 網野庁舎跡地活用構想検討会議開催状況と意見概要
- 資料 3 令和 2 年度まちづくりに関するアンケート結果（抜粋） ＜中学生・高校生＞
※若年層の流出の背景を推し量る一つの物差しとして中高生のアンケート結果を添付。将来も京丹後市に住みたいと思う割合は、町域ごとに見ると年度によって多少のバラつきがあるが、市全体で見ると割合は約半々となっている。
- 資料 4 周辺施設利用状況（アミティ丹後、あみの図書館、網野社会体育施設）
- 資料 5 網野庁舎跡地活用構想検討会議委員名簿
- 資料 6 京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議設置要綱

網野庁舎跡地活用構想(提言)

令和2年3月16日

網野町区長連絡協議会

< 基本構想 目次 >

○ 趣旨・経緯	 1
○ 跡地及び周辺図	 2
○ 検討の経過	 3～5

■ 提言内容

・ 現状認識	 6
・ 2年を超える議論の総括 ～コンセプト・基本方針～	 7
・ 検討アプローチ（項目別）	 8
・ エリアと施設の捉え方	 9
・ 住民がまちづくりに果たしていくスキーム	 10
・ 施設整備年度計画	 11
・ 市民交流広場 「スペースあみラボ」	 12～14
・ 市民交流センター 「コフーン」	 15
・ 「コフーン」の施設概要	 16
・ 「コフーン」の機能構成図	 17～18
・ あみラボ実行委員会の今後について	 19

網野庁舎跡地活用整備基本構想

趣 旨

昭和43年に竣工した旧網野町役場は、網野町の中心に位置し、網野町の核として多くの人から愛され、利用されました。

この跡地において、丹後ちりめんの産地として栄えた歴史的経緯やまちの将来像を踏まえつつ、地域の活性化に繋がる拠点施設を整備するための基本的な考え方を明らかにするものです。

経 緯

- S43. 6 網野町役場竣工
- H16. 4 京丹後市政スタート
- H29. 11 上下水道部が網野庁舎本館から丹後庁舎に移転
- H30. 2 網野町区長連絡協議会から市長に要望書（本庁機能を残すこと等）を提出
- H30. 3 商工観光部が網野庁舎別館からら・ぽーとに移転
- H30. 3 網野町区長連絡協議会から議会議長に要望書を提出
- H30. 4 網野町区長連絡協議会の内部に「庁舎・跡地検討チーム」を発足させる
- H30. 6 網野町区長連絡協議会が射水市役所視察（富山県）
- H30. 9 網野町区長連絡協議会が城崎国際アートセンター視察（豊岡市）
- H30. 12 「庁舎・跡地検討チーム」を発展解消し、あみラボ（あみのみんなのスペース未来ラボ）を発足させる
- R 1. 6 網野町区長連絡協議会が一般社団法人青蓮寺・百合が丘市民センター視察（三重県名張市）
- R 1. 7 あみラボワークショップを開催（延4回）
- ？ **一般参加者延べ100名（高校生～90歳代まで）**
- R 1. 10
- R 1. 11 本館及び別館一部の解体工事開始
- R 2. 3 網野町区長連絡協議会が住民の声に耳を傾け、多くの意見を反映させた跡地活用整備基本構想をまとめる。
網野町区長連絡協議会が市長に提言書を提出
- R 2. 7 解体工事終了予定 ⇒ 約6000㎡がさら地に

旧網野庁舎本館



跡地及び周辺図



※ 別館も含め、
跡地として
みなした場合

検討の経過

＜網野町内では初の試み＞

網野の将来について考えるこの取組を契機とし、あみラボワークショップの開催など一連の活動が、まちづくりに主体的に関わる人材育成の場になるなど、単に議論を交わす場ではないものに成長してきています。

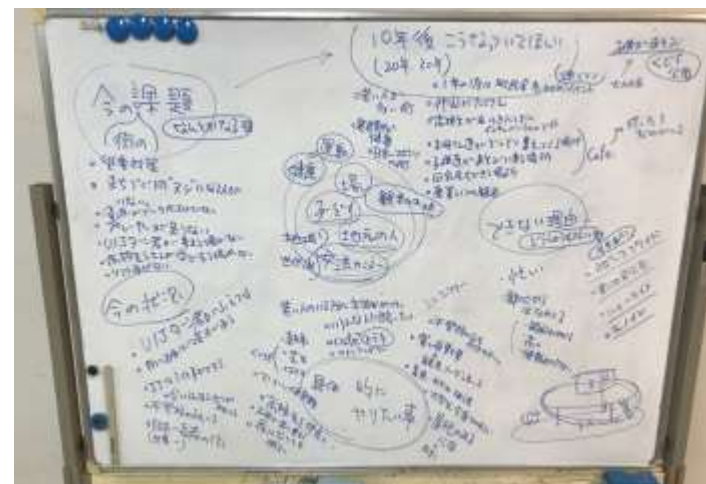
これまで、網野町内では、将来のまちづくりに関して世代を問わず、多くの老若男女が集い、網野町への想いについて議論を交わす機会がなかったことから、初の試みとなりました。

今後は、この活動を弾みとし、あみラボ実行委員会をさらに発展させ、引き続き、住民が主体的に関わるまちづくりの実践に向け、取り組みを進めます。

検討の経過

(1) 住民が参加するワークショップの準備

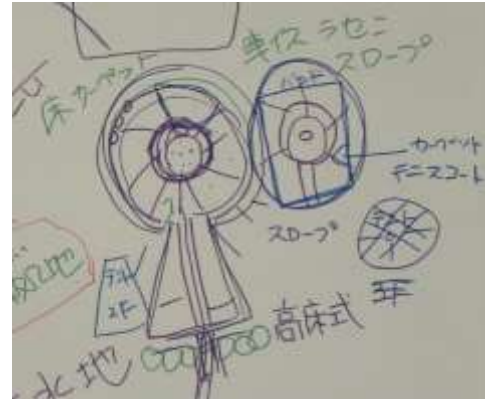
あみラボ実行委員会を延 16 回開催 ➡ 将来を語るエンジンルームに成長中



検討の経過

(2) 住民の声に耳を傾け、多くの声を拾う

あみラボワークショップを延4回開催 → 老若男女が集い、語らう場が拡大



一般参加者

延べ100名（高校生～90歳代まで）

※アンケート調査も実施

網野町区長連絡協議会での2年間に及ぶ協議 → 住民の声を聴き、まとめた



提言内容

網野庁舎跡地活用整備基本構想

現 状 認 識

対応が急務な

市の課題

- 1 つながりの希薄化（人口減、独居世帯増、核家族化、未婚率増、スマホの中毒化、団体スポーツの衰退）
- 2 若者の離町の進行（就きたい職業減、担い手不足、つながり・しきたりからの解放、都市部へのあこがれ）
- 3 市街地の空洞化（地価下落、大規模店の郊外出店、幼保小中高の再配置による通学・送迎の距離と負担増、空き地、空き家・空き店舗の増加、土地再利用の停滞）

その解決へ向けた

網野の強み

- 1 市街地の一等地の出現（網野庁舎本館解体による一等地の出現は土地再利用にとって千載一遇）
- 2 既存施設との相乗効果（金融、配送、地場産品販売、小規模店、医療機関、市役所・図書館・体育センター等）
- 3 都市機能を有すところ（域内・域外を結ぶ交通の拠点となる潜在機能を兼ね備えている立地であること）

京丹後市の「課題解決における公費負担の投資効果を最大限発揮できるエリア」である



計4回、延100名が参加し、跡地活用について議論を交わした「あみのみんなのスペース未来ラボ（通称:あみラボ）」でのワークショップ

網野庁舎跡地活用整備基本構想

2年を超える議論の総括

コンセプト

「繋がる」

① ひととひとが繋がっている

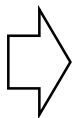


幼少期から、どれだけ、友達、仲間、家族と関わり合いを持って育ってきたか。

その積み重ねが、若者が故郷に帰る大きな原動力になる。



小さなふれあいが、郷土愛と支え合い（愛）を育むことに繋がる。



② まちとまちが繋がっている



町内の
各集落と

市内の
主要地と



市外の
主要地と

基本方針

コミュニケーションが生まれる場の創造

◎オープンなワクワクする交流広場

1. 地域がにぎやかになる空間
2. 老いも若きも集い語らえる空間
3. 子育てを応援する空間
4. まちの光を発信する空間

整備

・市民交流広場
「スペースあみラボ」

・市民交流センター
「コフーン」



③ ひととまちと歴史が繋がっている



銚子山古墳からの眺望と
網野の市街地周辺（昭和）



国指定史跡として公園整備が進む
網野銚子山古墳

網野庁舎跡地活用整備基本構想

検討アプローチ（項目別）

▽一体性

各種機能は、
周辺エリアを一体として
捉え、相互に補完し、
相乗効果を見出す。

▽地域性

網野神社、銚子山古墳
嶋児神社、離湖
八丁浜シーサイドパーク
琴引浜、夕日ヶ浦
子午線塔、磯街道
等の観光地等を巡る
「散策・サイクリング」
コースの拠点に。

▽機能性

- ・親子で遊べる
- ・雨の日でも遊べる
- ・夜でも明るい
- ・防災
- ・障害のある人も
- ・世代間交流ができる
- ・そこに行けば誰かがいる
- ・スポーツもできる（公園）
- ・観光の人も（交流人口）
- ・快適、衛生的
- ・ユニバーサルデザイン

▽環境性

- 環境に調和した施設づくり
- ・敷地内を積極的に緑化
 - ・建築物は木造
 - ・隣接空き工場を購入・解体
※廃屋化が進行中



エリアと施設の捉え方

市民交流広場のエリアの総称

：「**スペースあみラボ**」

＜住民の願い＞

地域の核となり、網野のにぎわいの起点として、
住民が育て、関わり続ける交流広場とする

＜名称の由来＞

まちづくりの**研究所 (Laboratory)** として、将来にわたり、住民自らが地域課題を解決するための実践を行うエリアと位置付ける

市民交流センターの施設の総称：**コフーン**

＜施設に対する住民の願い＞

明るい網野の未来を開き、
世代間交流を生み、まちづくりを進める交流施設

＜名称の由来＞

「コフーン」とは、「コクーン(繭)と古墳(墓)」とを合わせた造語。
繭は母親に宿った胎児を意味し、墓は人の死を意味することから、「コフーン」とは人の一生を表す言葉となり、全ての老若男女があまねく集う場所となることを願う施設である。また、繭は地場産業の絹織物・丹後ちりめんの象徴と言え、古墳は日本海側最大の前方後円墳で網野町のシンボリック存在である網野銚子山古墳をあらわすことから、「コフーン」は施設名としてふさわしい。

跡地一帯及び建物全体を
有効かつ機能的に
使用するための要望事項

- ①建設部及び付属する車庫の移転と取り壊し
- ②消防車庫の移転と取り壊し
(保健センター前の築山を撤去して移転)
- ③旧織物工場の敷地の購入



住民がまちづくりに責任を果たしていくスキーム

(現 実)

住民が

- ・まちづくりに無関心
- ・設計や企画面で関わる機会もない
- ・誰も旗振り役になりたがらない

↑
行政が頼み込んだ時は、
「何それ、興味ないよ」で
時すでに遅し

↓
**結果、何も生まれず、
継続性がなくなった上、
建物(ハード)だけが残るリスク大**

(理 想)

住民が

- ・まちづくりに関心を持ち
- ・設計や企画面で関わる機会があり
- ・旗振り役になりえる候補者が現れる

↑
行政が公募をかけた時は、
「ぜひ、関わりたいです」で
最適で熱量が高い旗振り役が現れる

↓
**結果、何か新しい動きが生じ、
継続性が保たれ、後継者育成につながった上、
住民サービスが向上し、活気にぎわう**

ギャップ
この乖離を
埋めるのは
施策

施 策

- ①あみラボ実行委員会の組織再編
企画・設計者等の追加募集
- ②地域づくりの専門家を招へい
議論から運営までの監督・指南

- ③財源確保と公募型プロポーザルの実施
機会均等の確保は前提
- ④「スペースあみラボ」と「コフーン」
のコーディネーターの人材確保

公費の
有効活用

議論→企画・設計→運営までの思いが、最後まで噛み合うとまちづくりのエンジンがまわる

施設整備年度計画

令和2年度 : ソフト機能の検討



令和3年度 : 基本計画策定



令和4年度 : 実施計画策定



令和5～6年度 : 工事実施



令和6年度末 : 工事竣工



令和7年度 : 施設オープン

「各種団体」×「あみラボ」×「行政」との協働まちづくり

①市内サークル、団体等と協議開始(4つの空間)

- 地域がにぎやかになる空間
- 老いも若きも集い語らえる空間

- 子育てを応援する空間
- まちの光を発信する空間

■市民交流広場「スペースあみラボ」

- ・屋根付き遊具
- ・3×3バスケットコート
- ・スポーツライミング施設
- ・緑化スペース(桜、紅葉)
- ・芝生広場、ベンチ、夜間照明
- ・朝市スペース
- ・駐車場
- ・駐輪場
- ・バスターミナル ほか

■市民交流センター「コフーン」

- ・老若男女だれでも使用できる交流スペース、カフェ等の公募スペース
- ・学習サポート
- ・IT活用
- ・イベントブース、音楽スタジオ、学習スペース、おしゃべりコーナー
- ・子育て応援、母親交流スペース
- ・プレイルーム
- ・絵本コーナー
- ・乳幼児コーナー等
- ・銚子山古墳を望む展望台

②運営の体系的な整理

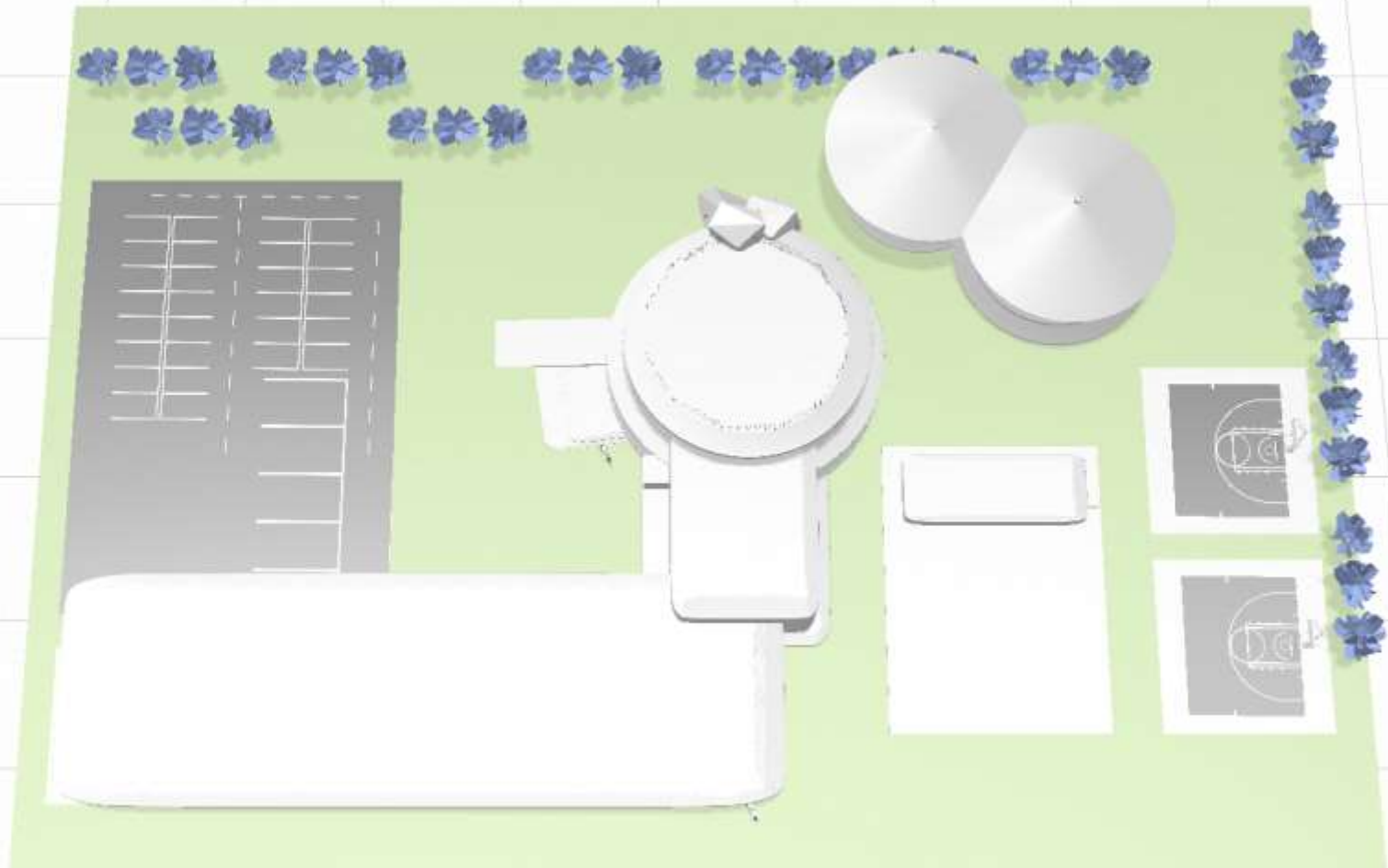
- 市としての施策の位置づけ
- 行政課題及び地域課題を解決するための協働方策
- 公費負担と受益者負担のあり方

③運営管理者の公募・選定

④運営開始

市民交流広場 「スペースあみラボ」

- ・交流広場「スペースあみラボ」
- ・交流センター「コフーン」 ※網野銚子山古墳の1/5サイズを再現
- ・屋根付き遊具、3×3バスケットコート、スポーツクライミング施設、
- ・緑化スペース(桜、紅葉)、芝生広場、ベンチ、夜間照明
- ・朝市スペース、駐車場、駐輪場、バスターミナルほか



市民交流広場 「スペースあみラボ」

17



市民交流広場 「スペースあみラボ」



市民交流センター「コフーン」

<施設名称:コフーン>



「コフーン」の施設概要

施設概要

- ・建物の平面形を前方後円墳の形とし、その規模は銚子山古墳(全長200m)の五分之一で計画する。
- ・木造一部2階建て(後円部側が2階、前方部側が1階)とする。
 - 1階は、イベントブース・交流スペース(学習サポート)・子育て応援、母親交流スペース(プレイルーム、絵本コーナー、乳幼児コーナー等)・ITコーナー
管理事務室(ガイド待機場所)・
公募スペース(例:カフェ、駄菓子屋、ラーメン屋、布団が洗えるコインランドリー)・トイレ・階段・エレベーター
 - 2階は、音楽スタジオ・You Tubeスタジオ、絵画制作スペース・学習スペースのほか交流スペース
 - 屋上に銚子山を望む展望台を設置する。
 - 延床面積約1,200㎡
※なお、これらの活用については今後も市民からの意見を聴取し反映させていくもので、確定的なものではない。

ソフト機能

- 地域がにぎやかになる空間
老若男女だれでも使用できる交流スペース、カフェ等の公募スペース、学習サポート、IT活用
- 老いも若きも集い語らえる空間
イベントブース、音楽スタジオ、学習スペース、おしゃべりコーナー
- 子育てを応援する空間
子育て応援、母親交流スペース(プレイルーム、絵本コーナー、乳幼児コーナー等)
- まちの光を発信する空間
展望台から銚子山古墳を望む
街角観光の基地(電動自転車によるガイド案内) ※地域の文化や暮らしに入っていける観光
例:長寿を願う浦島太郎史跡巡り(銚子山・しわえのき・網野神社・嶋児神社・福島・六神社・こころの森美術館)

その他の課題

- 施設の管理運営については、隣接するあみの図書館、保健センター、アミティ丹後、体育館との緊密な連携を図るとともに、旧幼稚園の建物及び敷地の活用については今後も検討を行っていく。

「コフーン」の機能構成図(1F)

<建屋1F>

※モチーフ: 銚子山古墳(前方後円墳)

①イベントスペース(曜日、時間帯で利用対象者が変わる)

<対象:一般>

○屋内イベント活動

- ・ミニ教室の開催(趣味発見、生きがい発見)
- ・展示スペース
- ・その他

②交流スペース

<利用時間>

春・夏・冬休み期間
及び平日の夕方

<目的>

学習サポート

<対象:一般>

- 国際交流
- 語学交流
- 文化交流

③子育て応援

スペース

(絨毯)

- ・プレイルーム
- ・絵本コーナー
- ・お母さん達のおしゃべり交流相談コーナー

④母親交流スペース(絨毯)

- ・授乳室
- ・お昼寝ベッド

⑥ITコーナー

- ・プログラミング学習
- ・You Tube(ユーチューブ)スタジオ

⑦トイレ
(男・女)

⑩管理事務室
兼レンタルサイクル
ガイド待機場所

階段

入口

18m

14m

⑧公募
スペース

カフェ、駄菓子屋、ラーメン屋、
コインランドリーなど

⑨公募
スペース

(その他)
エレベーター

⑤憩いの広場

⑤憩いの広場

<対象:一般>

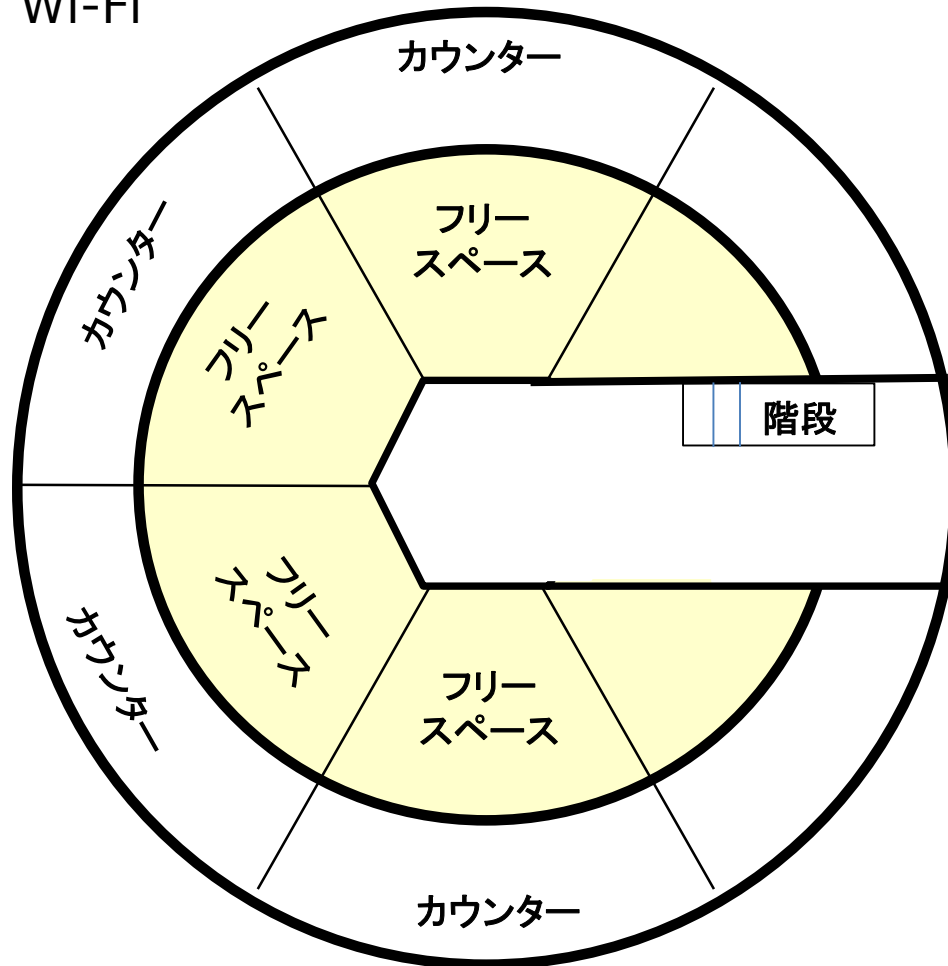
- 休憩スペース

40m

「コフーン」の機能構成図(2F、屋上、屋外)

<建屋2F>

- ・フリースペース(可動式間仕切り)
音楽スタジオ、学習スペース等
- ・カウンター(充電コンセント付き)
- ・Free Wi-Fi



<建屋屋上>

- ・展望台(銚子山古墳を望む)

<屋外>

- ・屋根付き遊具・公園
- ・緑化(芝生、木、花)
- ・ベンチ
- ・夜間照明
- ・スポーツクライミング
- ・3×3(バスケ)コート
片面(2面)
- ・カフェ
- ・朝市
- ・駐輪場
- ・バスターミナル

あみラボ実行委員会の今後について

あみラボ実行委員会は、本構想の作成をもって終了するものではなく、施設の実施計画や完成後の施設運営についても検討していくこととして、新メンバーも加えた体制で継続して今後も開催していくこととする。

そのために、これまでと同様に市行政からの人的、経済的支援を要望します。

網野庁舎跡地活用構想検討会議開催状況

	開催日・場所	内 容
第 1 回	令和 3 年 1 0 月 1 1 日（月） アミティ丹後 研修室 A・B	・これまでの経過について ・検討会議の役割と開催スケジュール ・公共施設（市民参加・協働・コミュニティの視点）について話題提供
第 2 回	令和 3 年 1 1 月 2 2 日（月） アミティ丹後 研修室 A・B	・第 1 回検討会議意見の報告 ・網野庁舎跡地活用構想（提言）について意見交換 ・跡地活用施設の整備内容について意見交換（ワークショップ形式）
第 3 回	令和 3 年 1 2 月 2 7 日（月） アミティ丹後 研修室 A・B	・「まちづくりグランドデザイン推進事業」におけるその他の検討会議の進捗状況 ・第 2 回検討会議意見の報告 ・京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想（素案）の検討
第 4 回	令和 4 年 1 月 2 4 日（月） アミティ丹後 研修室 A・B	・第 3 回検討会議意見の報告 ・京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想（素案）の検討

第1回京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議での主な委員意見概要

項目	委員意見の概要
交流に関する意見	・子ども達が楽しく安心して過ごせ、多世代の交流ができる施設。 ・体育館、図書館、地場産センターなどをうまく連結させ、皆がワクワクして大勢の方が集まれる場所にできたら。 ・誰でも集えるということが大切。子供にとっても高齢者との触れ合いは大切。 ・お母さん達が集えるコーナーがあるのは素晴らしい。
賑わいに関する意見	・若い世代にも来てもらえるよう、楽しいことを発信していけたら。 ・バスケットコートや公園など、みんなが集まって楽しめる場所にできたら。
観光に関する意見	・観光で魅力ある町を発信する場所でありたい。Eバイク、大学生の合宿など、対外的な関係人口、交流人口をこの施設から発信して増やせていけたら。 ・網野の地域は、観光のメイン拠点だと思うので、その中で何かチャレンジできるようなきっかけ作りにも今回の場所がなればいい。 ・観光で丹後をどう知ってもらうかは、地域の人がどう迎えてくれるか、どう繋がっていくかということが大事。ぜひそういう場があれば。
その他	・若者のアイデアを高齢者がサポートするとか、高校生が意見を言っても恥ずかしくない空気づくり。 ・子どもがやりたい、大人がやりたいを叶えてもらえるスペース、一緒にやろうと言ってくれるスペースになれば。(roots：京丹後市未来チャレンジ交流センター のような) ・若者が意見を出して年寄りが活躍する、高齢者が生き生きとした町というところも目指す必要がある。誰もが繋がれる空間というのは、すごく大事なこと。 ・2階の展望台から前方後円墳を眺められるのは素晴らしい。 ・施設の運営にはお金がかかるため、少しでもお金が生まれるような施設の運用の仕方を。

第2回京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議での主な委員意見概要

項目	委員意見の概要
交流に関する意見	・ あみラボに参加してくれた学生たちの想いが完成した後も広がって話し合えるような、rootsのような部活帰りに立ち寄れる場所が常設であれば。夜の町を明るくする意味でもいいと思う。 ・ 施設の稼働率を議論するうえで、利用ターゲットが地域住民だけなのか、移住者であるとか外部の方々と網野に来た人が自由に使えるとかある中で、工芸繊維大学のキャンパスは各大学の学生が自由に使えるようになっているので、そのように地域外の学生が利用できる施設もいい。 ・ 京丹後市で取り組んでいる「新たな地域コミュニティ」づくりの課題研究が出来るよう地域の方が集まれる、網野町の中央公民館のような場所になれば。 ・ 男女が気軽に集えるような場所。会話の場であるとかイベントが出来る場所。それをサポートしていける場所があれば。
賑わいに関する意見	・ 日頃行っている活動を発表する場所が少ない。小規模な形でも発表の場が出来ればうれしい。フリースペースといった形で柔軟な使用ができるようにしてもらいたい。 ・ オンラインでのイベントが増えている中で、小さなグループだけでも講演会や動画が見ることができるスペースがあれば。 ・ 個室でなくても周りが気にならない程度で仕事が出来るスペースがあれば。 ・ 兵庫県にある植村直己冒険館の子ども用のボルダリングや木で出来たおもちゃが素晴らしかった。島津連合区でも木材を使ったおもちゃで遊んでもらう取り組みをされているので、そういった活動をこの会議にも教えていただきたい。雨が降っても子ども達が遊べる場ができたらいい。
観光に関する意見	・ 今回の構想が全体的に古墳をテーマにして作っていくのであれば、古墳の町としてももう少しコンテンツを入れていく必要があると感じる。今回の施設だけが古墳を模しているだけでは、町としての統一性が取れなくなってくる不安がある。

項目	委員意見の概要
チャレンジに関する意見	・ 仕事が生まれる、繋がる場所。「起点」という意味でいい場所だと思う。コロナの影響で働き方も変わってきている。柔軟な形で起業する若者に役立ててもらえる場所に。 ・ 若者や移住者のチャレンジの場を、建物の外でコンテナハウスやキッチンカーといった形で利用できたら。 ・ 学生の考えを具現化できる建屋にするべき。実際に店を設けて自分たちが作ったものを売れるような機会作りが出来れば。
運営に関する意見	・ 運営という面をしっかりと考えていかないといけない。費用的なことも含め、議論の中に含めてほしい。 ・ 放課後児童クラブのような、子ども達が自由に集まれて、スポーツや遊びを通して教育的なことができる場所であれば。そう考えると、施設を運営する人間が常駐しなければいけなく、その役目が誰になるのかも考えるべき。
古墳に関する意見	・ これまで活かされてなかった古墳をこの機会に形だけではなくて中身もあるというPRの仕方が大切。 ・ 京丹後市にある文化施設を活用したツアーなど、市の文化に触れてもらう形を考えていければ。 ・ 小学生が学習の一環で、展望台から古墳を見て歴史について学んでいただけたら素晴らしい。
その他	・ あみラボに参加していない方の感性や想いを肉付けしていければ。 ・ 提言書の中では、多機能に使えるスペースも多く設けている。施設ができる前から文化・体育団体、子育て世代が真剣に検討していけば、議論が進みやすくなると思う。 ・ 提言書を作成した際に調査した「京丹後市のまちづくりに関するアンケート」で網野町の中学3年生147人からの回答の結果、10人に6人以上が社会人になったら京丹後市に住み続けたくないと回答している。この結果を受けて、小さい時から繋がりや関わりを育てていけば、将来に向けていい結果になるのではと思い、提言の中のコンセプト「繋がる」を決めた。 ・ 今回の会議のPRの仕方に工夫を。この会議で進められている話をもっと外へPRするべき。 ・ 気軽に足を運んでもらえるような居心地のいい場所を作っていかなければいけない。

第3回京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議での主な委員意見概要

項目	委員意見の概要
交流に関する意見	・子育て、母子交流スペースは、おもちゃや絵本を置くことを考えて広くとるべき。 ・旧網野幼稚園も構想に盛り込めれば、子ども向けの施設は旧網野幼稚園といった使い分けができるかと思う。 ・子育て、母子交流スペースから芝生広場がしっかり見えるような配置に（兄弟の様子が分かるように） ・今回の構想のメインは人の繋がりをいかに持たせていくかだと思う。
賑わいに関する意見	・こどもやお年寄り、車で移動しにくい人たちが集まれる場所となれば、峰山に出来る増築棟整備とは内容は重ならないと思う。 ・施設ができる前から跡地を使ってイベントをしてみるなど、町の人達が跡地活用について知って、考える機会を作るべき。実際に使ってみると問題点が見えてくる。 ・オープンスペースを作って、待ち合わせ場所や休憩場所等の多様な使い方をできるようにする。 ・スクリーン、プロジェクターを完備した講座・集会室を作ってはどうか（30～40人規模） ・音楽スタジオを完備（防音、音響設備）してはどうか。練習の場所として使ってもらい、発表の場所をアミティとすることで相互利用も可能。
チャレンジに関する意見	・コンテナハウスの案をイメージ図に入れてもらえれば。
運営に関する意見	・運営管理についてある程度決めておくべきなのでは。サービスを提供する人は誰なのか。スペースがあるだけなのか、運営スタッフが常駐するのか分からない。 ・施設規模から考えてかなりの管理費用が想定される。持続的に運営していく仕掛けづくりをどう考えるかが大切だと思う。 ・区長連絡協議会のほうでも、運営に関しては市と議論をしていかなければいけないと思う。

項目	委員意見の概要
古墳に関する意見	・ 前方後円墳の形はインパクトがある。具体的な建築の段階に入ったときに、たくさんの方の意見や思いが少しでも反映された建物になってほしい。 ・ 施設は古墳の形にとらわれなくても、歴史が学べるようなものが施設の中にあれば。 ・ 使い勝手を考えると古墳を模した形の施設は難しいと思う。それを補う意味で、屋上に展望台を設置して、写真撮影の場所にしてもらえれば、銚子山古墳の知名度も上がるのではないかな。 ・ 古墳の形を模したインパクトのある建物があってもいいのではないかな。この建物の案があったからこそたくさんの意見や思いがこれまで出てきたと思う。
その他	・ 盛り込みたい内容をすべてこの施設だけで補おうとしていると感じる。子ども達が集まれるスペースは建物でないとできないわけではない。充実した公園でも出来ると思うし、建物に全部の機能を満たそうとすることは止めた方がいいのでは。もっと要素を絞って、特徴のあるものを作っていけばいい。 ・ 市出身の学生など、京丹後にゆかりのある人に設計してもらってはどうか。 ・ 市民公開プレゼンのような形をとれば、住民の方も理解ができるのでは。（鳥取県立美術館の例） ・ 素案の中にもう少し細かいスケジュール感みたいなものを、図で表していただいた方が分かりやすい。 ・ 網野らしさを活かした施設の特徴を入れるべき。 ・ 旧網野幼稚園と今回の施設を渡り廊下で繋ぐのもいいのでは。 ・ この施設が地域交通のプラットフォーム的な場所になれば、さらに良い地域づくりが出来る。 ・ 素案の中の「想定する主な内容」の部分の具体性をもう一度しっかりと提示して進めるべき。 ・ 近隣の施設にはそれぞれの役割がある。今回の施設はそれらを補完するような形で使われてくれればいいと思う。

第4回京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議での主な委員意見概要

項目	委員意見の概要
交流に関する意見	・「子育てスペースと母親交流スペース」は、ジェンダーレスを考慮して「子育て交流スペース」だけでよい。
賑わいに関する意見	・遊具については、具体的に書かなくてもいいのではないかな。 ・現在アミティで出店している朝市は、新しい建物が出来るのであれば、移設したほうが賑わいも生まれるのではないかなと思う。 ・縄が綱目になっているアスレチック遊具を建物に併設すれば大人から子供まで遊べる。また緊急時には建物から飛び移れる避難経路の用途にも使えるのでは。 ・遊具を設置すると錆びたり問題がでてくる。屋根があり避暑や雨避けが出来る中で、遊具でなくても砂場や小山があれば小さい子が遊べるのではないかな。（屋根付き遊具だけでなく、砂場等と例示） ・スタジオ設備について、鏡があればダンス練習にも使えるので、使いたい人が増えるのではと思う。（壁面鏡を例示） ・他にはないから足を運んでもらえるような何か、他と同じではだめ。子ども、お年寄り、若者がもう1回行ってみたいなと思えるような場所にして、網野に足を運んでもらうのが大事ではないかな。 ・公園（芝生広場）については、メイン通りに面していた方が、人通りが多いので安全。 ・網野町では料理教室や子ども食堂ができるような場所がない。子ども達も自転車で来られるような立地なので、勉強会や料理講習ができるようなオープンスペースのキッチンがあればいいと思う。また災害が起きたときに炊き出しなどをするのにもとてもいい場所。 ・パソコンが使えない人達を指導してもらえるような場所があったらいいと思う。
運営に関する意見	・約二年間の議論をいただいて提言を提出していただいたあみラボが運営の主となっていくのでは。

項目	委員意見の概要
古墳に関する意見	・ 建物の形は大事であり、行ってみたいという感情が湧くようなものがよい。（古墳を模したもの） ・ 古墳の形の建物で部屋を区切るとなると、使い勝手が悪そう。少しでも古墳をイメージできる工夫を考えていただけたら。 ・ 6 ページの(4)跡地活用施設の内容の下から 2 行目の「網野町のシンボリック的存在である網野銚子山古墳」を「シンボリック的存在として」にした方がよい。 ・ 古墳を模したような形のなかで、アスレチックなど、何か遊べるような仕掛けができないか。 ・ 古墳についての言及をもう少し足して、外観や名称などの工夫の中身も例示し、プロポーザルで出てくるいろんな案から決めていくのが良い。
その他	・ 今ある公園ですら遊具の維持管理が難しい。新しい遊具を整備してどこまで維持できるか。 ・ 使用する用語の統一が必要。 ・ 用語修正案「カフェ等の公募（自動販売機）からカフェ・物販等公募（自動販売機も含む）へ変更」 ・ 事業スケジュールにも運営事業者の選定（市民参画）などの情報を入れた方がいい。 ・ 6 ページ「施設・設備の検討例」に“誰に対してのサービスなのか（ターゲット）”の項目があってもいいのでは。 ・ 建物については、バスなどの交通アクセスの面と日照の面を考えると市道網野下岡線に対して平行に建てる方がいい。 ・ こういった施設を作るとなれば、長い目で見てずっと続く方法が大事であると思うので、具体的に検討される際はしっかりと議論をしてもらえれば。 ・ 防災上のことを考えると、災害時の炊き出しなどを考えれば今回設置させる遊具やベンチにも防災の観点を入れてはどうか。 ・ 3 ページの(2)施設整備の基本方針の④「高校生」は絞りすぎ。「若者」に統一もしくは、「高校生を中心とする」など工夫を。 ・ プロポーザルを行う際は、書面だけでは伝わらない部分が適正に評価されるかが問題であると思うので、時には委員長にも選考に入っていただくなど、今までの貴重なご意見を踏まえた評価が出来るような体制づくりが必要。

項目	委員意見の概要
その他	・ 広場がある以上、トイレは休みの日でも使えるように建物の外から使える工夫があれば。 ・ 広場の水回りについて、非常時のこと、トイレの利用のことと合わせて、手洗いや飲み水についての言及がないので、分かるように書きぶりを工夫する。 ・ 施設の位置図について、バス停や駅の位置を明記することで、誰に対してアクセスしやすい立地なのかを明確にするべき。 ・ 関係資料について、アンケートの載せ方、周辺施設の利用状況を加えるなど工夫を。 ・ 「(4) 跡地活用施設の内容」は、あくまでもイメージであると思うので、最後のほうの項目に持ってきて、「(6) 事業方法」を先の項目にもって来るべき。 ・ プロポーザルの際は、面積を条件にするよりは上限の金額を提示し、その中で工夫できるようにした方がよいのではと感じた。 ・ 建物の間取りも含めて面積が変わってくるのであれば、あまり細かな数字を入れすぎない方がいいのではないか。あるいは、延床面積についてはプロポーザルの提案によって変わる可能性があるという工夫を。 ・ 交通アクセスについて、京丹後市の強みをPRしながら、地域公共交通などと施設の接続を図っていくことが伝わる書きぶりを工夫する。 ・ 参考資料の添付する順番の変更と、検討会議意見の概要も添付した方がいい。(こういった議論がされていたのかが分かる)
委員長整理	・ 遊具について、固定したものだけではなくて移動ができることや、災害対応、ユニバーサル、大人も利用できる、アスレチックというキーワードがあり、遊具についての言及の工夫を。 ・ 用語の統一とカタカナ語などへの注釈。 ・ 建物外観について、これまでの議論をしっかりと活かしたインパクトのあるものが必要だということを改めて強調。 ・ 運営方法や団体を決めていくにあたって、対話の必要性について、基本構想の項目の順番も含めて工夫する。 ・ 建物の向きについて、柔軟に考えることが出来ると分かるように記載。

項目	委員意見の概要
委員長整理	・トイレを広場利用者が使えるよう、またユニバーサルや多様性、災害をイメージもので考える必要がある。 ・関係資料の付け方について、資料に誘導したり、本文で引用するなど。加えて、図書館の利用件数などの資料を追加する。 ・「居場所」というキーワードが欲しい。「職場や学校」でもない、「3番目の居場所」がどんどん減っている。「ここに居ていいんだ」、「居たいと思う」というような居場所という言葉がどこかに入れるといいのではないか。 ・名称についての言及がほしい。例えば愛称について公募やワークショップを行うなど、市民参加型で作っていくことを言及すべき。 ・発信について、例えば区長連絡協議会、子供会とか高校とか中学校、小学校などのいろんな場面を利用していきながら、意見を聴取していくような発信が必要なのでは。委員会や審議会とかだけで意見を固めるのではなくて、広く皆さんに意見をしてもらえような発信を是非ともこの構想の最後書いてみては。

◇京丹後市のまちづくりに関するアンケート調査結果

I 調査の概要及び回答者の属性

1. 調査の概要

(1) 調査目的

京丹後市まちづくり委員会の提言に基づき、将来の京丹後市を担う18歳未満を代表して、京丹後市に住む中学3年生を対象とした、京丹後市のまちづくりに関するアンケート調査を行い、ふるさとに対する意識、将来の定住や職業への意向、まちづくりに対する意見やアイデアを把握するため実施しました。

(2) 調査対象及び回収結果

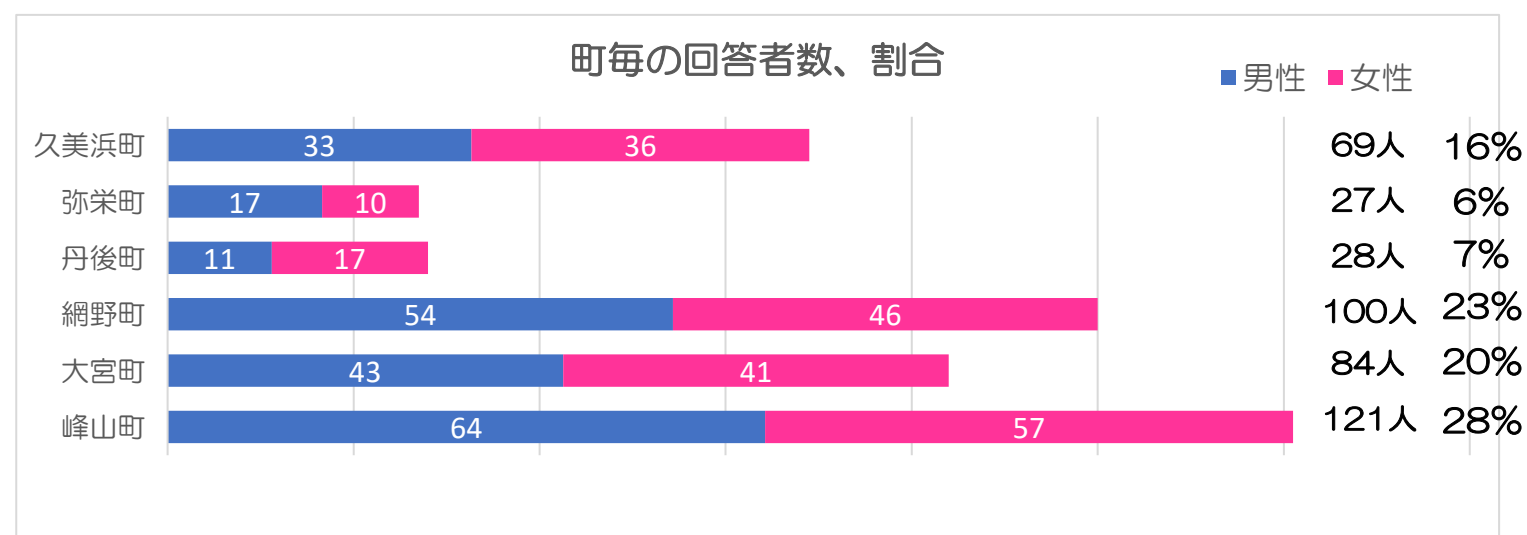
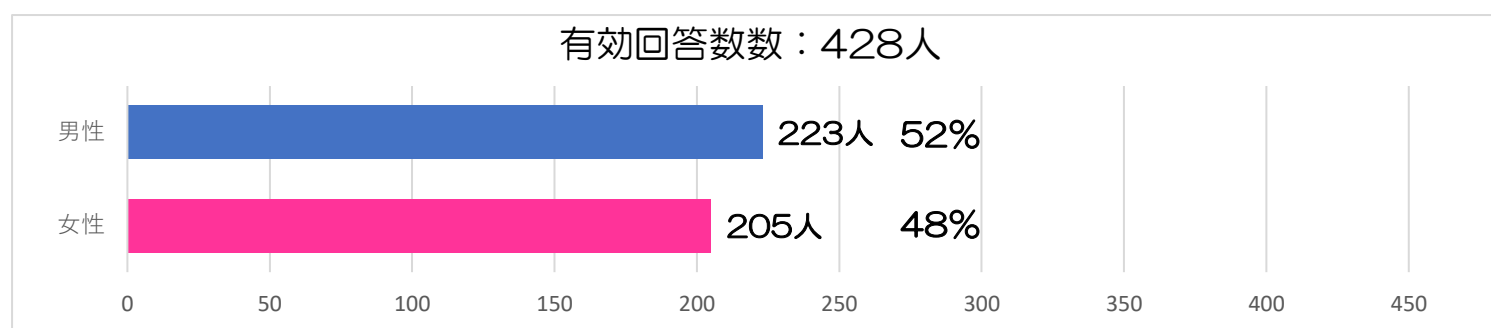
調査対象	市内の中学3年生	前回：令和元年12月実施
調査方法	各中学校での配布・回収	
調査時期	令和2年12月	

(3) 配布数及び回収結果

配布数	462 人
有効回答者数	428 人
有効回答率	92.6%

2. 回答者の属性

回答者462人の属性は、「男子：223人」（52%）、「女子：205人」（48%）となっており、町毎の回答人数は以下のとおりとなっております。



II アンケート調査結果について

1. 調査結果

(1) 京丹後市が好きか

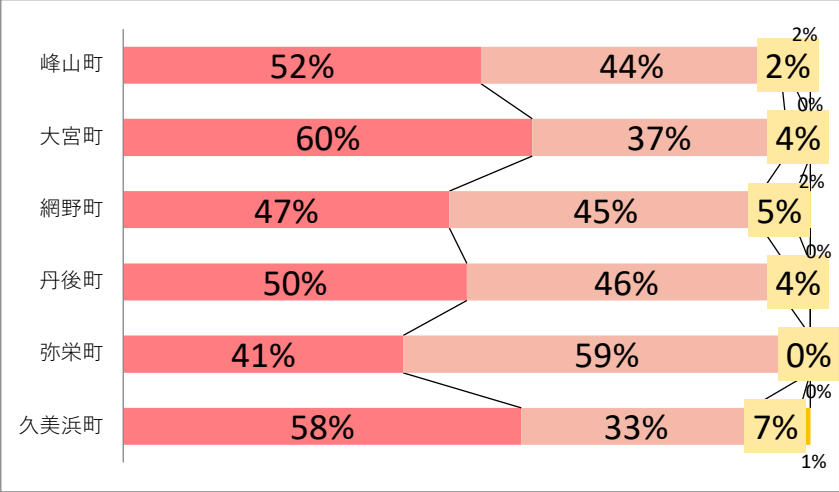
問1 あなたは、京丹後市が好きですか。

“好き”「53%」+ “まあまあ好き”「42%」= 「95%」
⇒ **9割が京丹後市が好きと回答**

京丹後市に対する愛着度を把握するため、「好き」、「まあまあ好き」、「あまり好きではない」、「好きではない」の中から1つを選んでもらいました。

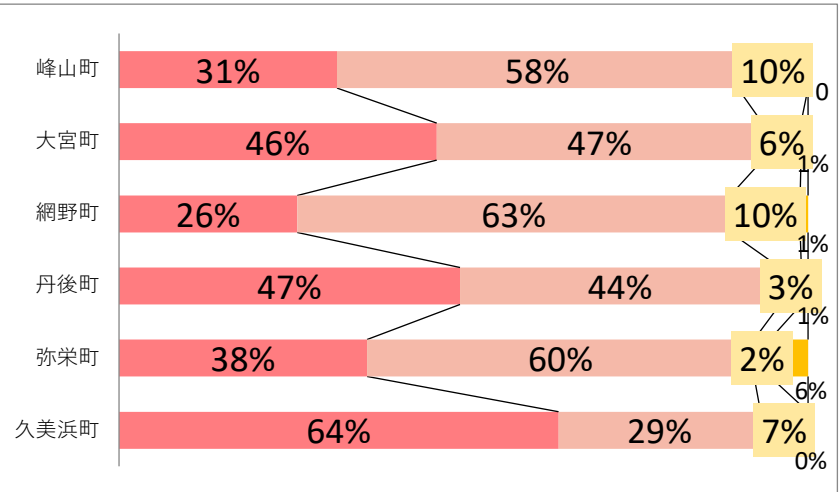
その結果、「好き」と答えた人が、53%で最も多く、次いで、「まあまあ好き」と答えた人が42%で、これらを合わせた**“好きだ”という人が95%と、9割以上に達しています。**これに対し、**“好きではない”**（「あまり好きではない」（4%）、「好きではない」（1%）の合計）と答えた人は**5%と1割を切っており**、前回調査と同様、今年の内市内中学3年生もふるさとへの**愛着度はかなり高い**結果となりました。

R2		好き		好きではない	
		95%		5%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
峰山町	121	52%	44%	2%	2%
大宮町	84	60%	37%	4%	0%
網野町	99	47%	45%	5%	2%
丹後町	28	50%	46%	4%	0%
弥栄町	27	41%	59%	0%	0%
久美浜町	69	58%	33%	7%	1%
計	428	53%	42%	4%	1%



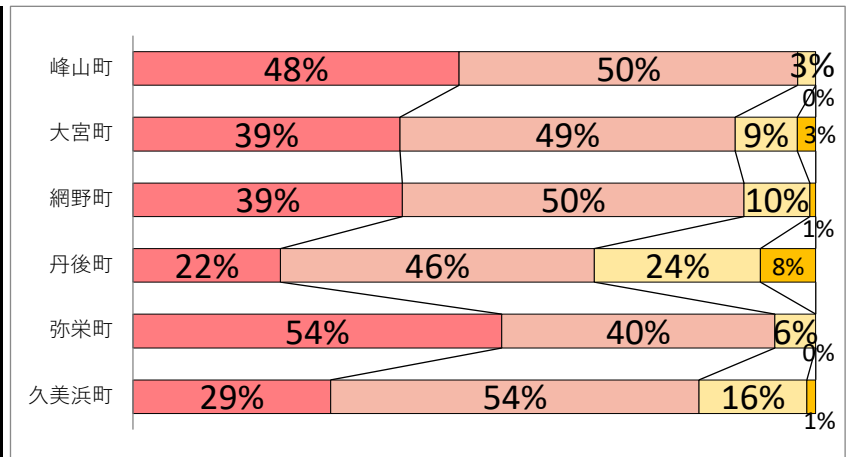
【参考：令和元年度調査分（R1. 11月実施）】

R1		好き		好きではない	
		91%		9%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
峰山町	99	31%	58%	10%	1%
大宮町	89	46%	47%	6%	1%
網野町	108	26%	63%	10%	1%
丹後町	34	47%	44%	3%	6%
弥栄町	42	38%	60%	2%	0%
久美浜町	58	64%	29%	7%	0%
計	430	39%	52%	8%	1%



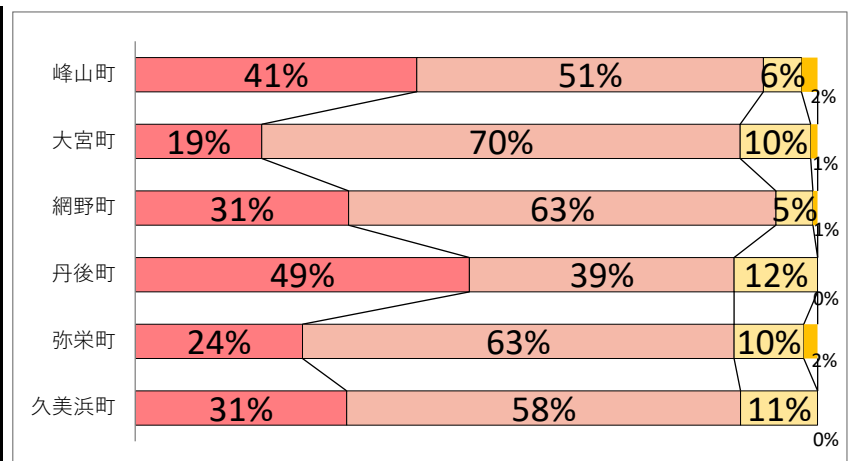
【参考：平成30年度調査分（H30.12月実施）】

H30		好き		好きではない	
		91%		9%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
峰山町	99	31%	58%	10%	1%
大宮町	89	46%	47%	6%	1%
網野町	108	26%	63%	10%	1%
丹後町	34	47%	44%	3%	6%
弥栄町	42	38%	60%	2%	0%
久美浜町	58	64%	29%	7%	0%
計	430	39%	52%	8%	1%

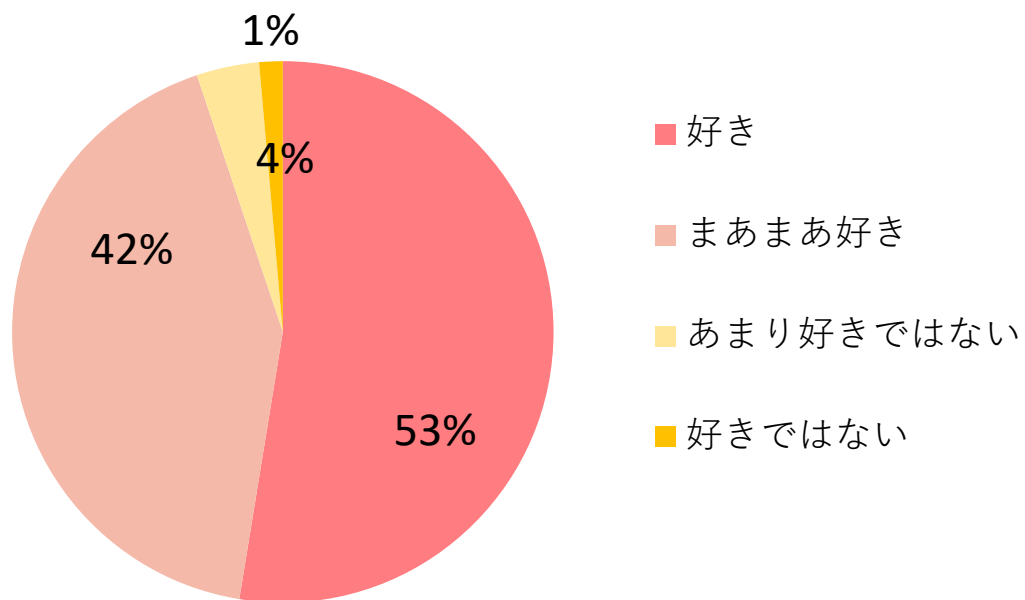


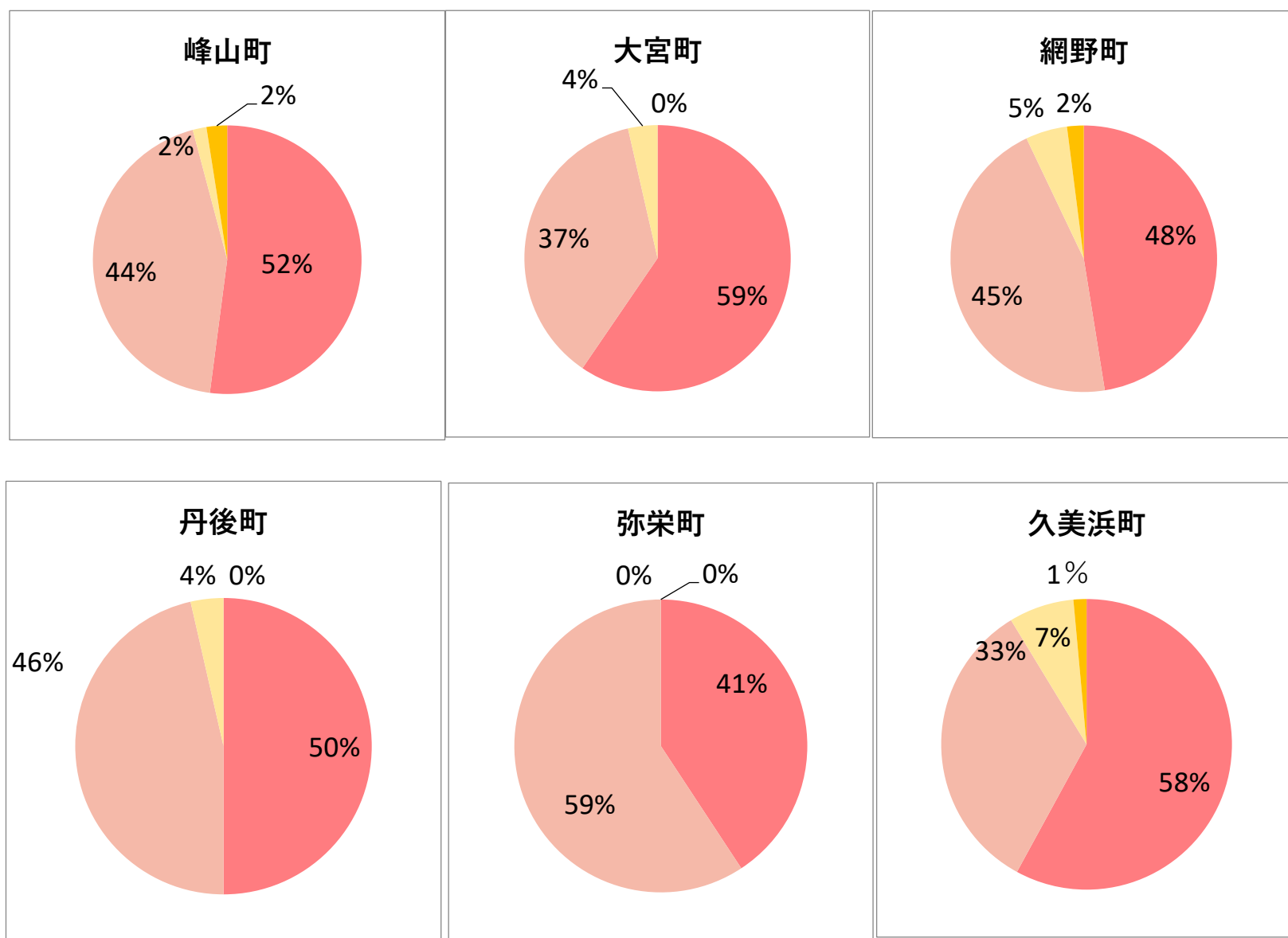
【参考：平成29年度調査分（H30.3月実施）】

H29		好き		好きではない	
		91%		9%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
峰山町	126	41%	51%	6%	2%
大宮町	97	19%	70%	10%	1%
網野町	147	31%	63%	5%	1%
丹後町	49	49%	39%	12%	0%
弥栄町	49	24%	63%	10%	2%
久美浜町	71	31%	58%	11%	0%
計	539	32%	58%	8%	1%



京丹後市





(2) 京丹後市に住みたいか。

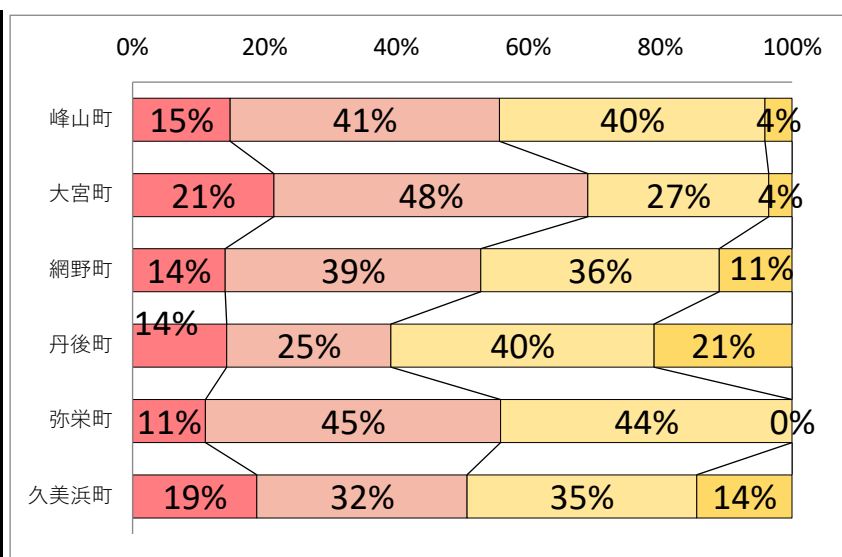
問2 あなたは、社会人になっても、京丹後市に住みたいと思いますか。

“住みたい” が「56%」 “、住みたくない” が「44%」。

中学生の将来の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかというに住みたい」、「どちらかというに住みた
くない」、「住みたくない」の中から1 つを選んでもらいました。

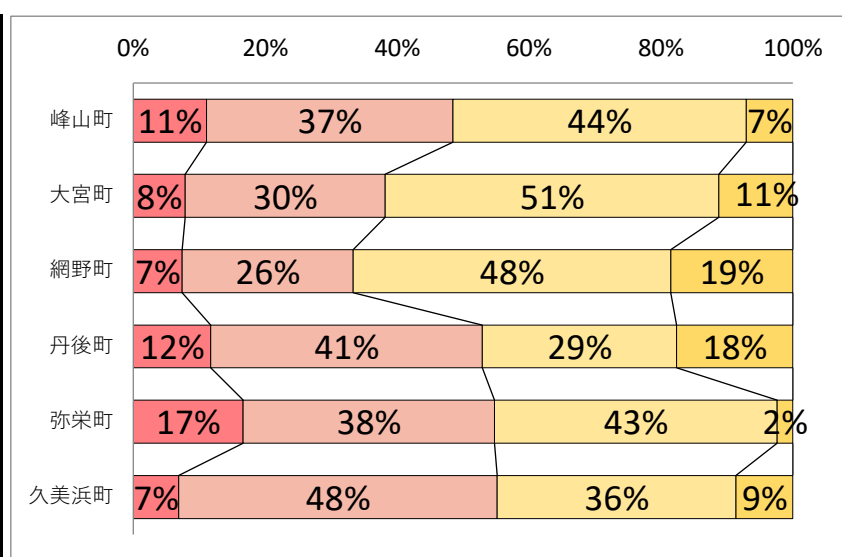
“住みたい”（「住みたい」（17%）、「どちらかというに住みたい」（39%）の合計）と答えた人が、56%で
“住みたくない”（「住みたくない」（8%）、「どちらかというに住みたくない」（36%）の合計）と答えた人が
44%で “住みたい” の割合の方が12%高い結果になりました。

R2		住みたい		住みたくない	
		56%		44%	
町	集計人数	住みたい	どちらかという と住みたい	どちらか という と住みたく ない	住みたく ない
峰山町	121	15%	41%	40%	4%
大宮町	84	21%	48%	27%	4%
網野町	99	14%	39%	36%	11%
丹後町	28	14%	25%	40%	21%
弥栄町	27	11%	45%	44%	0%
久美浜町	69	19%	32%	35%	14%
計	429	17%	39%	36%	8%



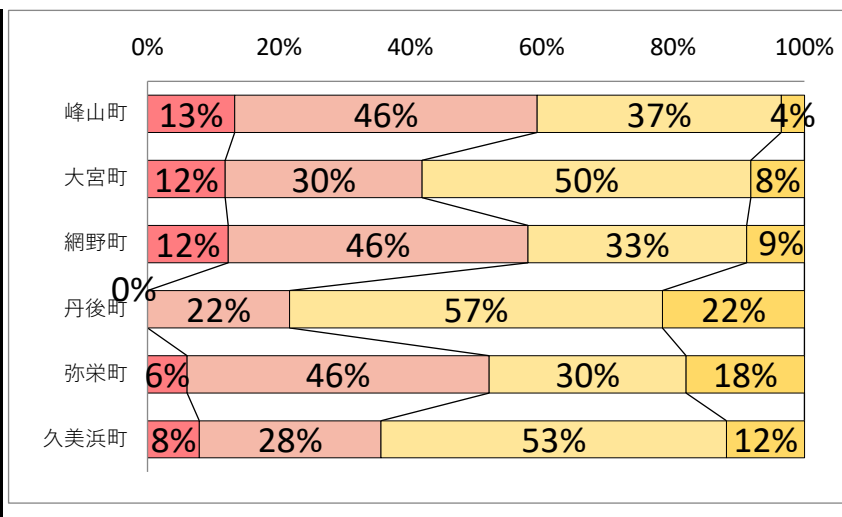
【参考：令和元年度調査分（R1. 11月実施）】

R1		住み続けたい		住み続けたくない	
		44%		56%	
町	集計人数	住みたい	どちらか という と住みたい	どちらか という と住みたく ない	住みたく ない
峰山町	99	11%	37%	44%	7%
大宮町	89	8%	30%	51%	11%
網野町	108	7%	26%	48%	19%
丹後町	34	12%	41%	29%	18%
弥栄町	42	17%	38%	43%	2%
久美浜町	58	7%	48%	36%	9%
計	430	10%	35%	44%	11%



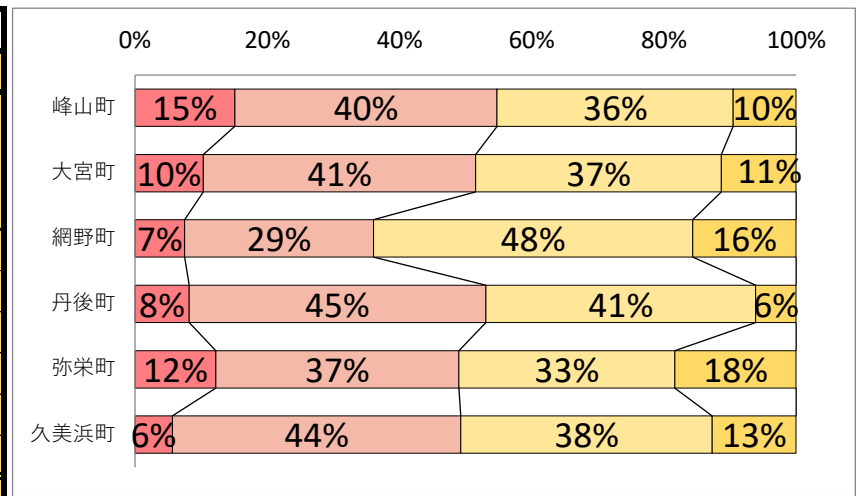
【参考：平成30年度調査分（H30. 12月実施）】

H30		住み続けたい		住み続けたくない	
		48%		52%	
町	集計人数	住みたい	どちらか という と住みたい	どちらか という と住みたく ない	住みたく ない
峰山町	113	13%	46%	37%	4%
大宮町	110	12%	30%	50%	8%
網野町	114	12%	46%	33%	9%
丹後町	37	0%	22%	57%	22%
弥栄町	50	6%	46%	30%	18%
久美浜町	76	8%	28%	53%	12%
計	500	10%	38%	42%	10%

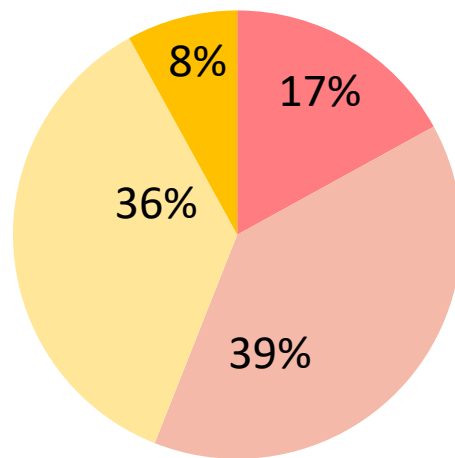


【参考：平成29年度調査分（H30.3月実施）】

H29		住み続けたい		住み続けたくない	
		48%		52%	
町	集計人数	住みたい	どちらかという と住みたい	どちらかという と住みたくない	住みたくない
峰山町	126	15%	40%	36%	10%
大宮町	97	10%	41%	37%	11%
網野町	147	7%	29%	48%	16%
丹後町	49	8%	45%	41%	6%
弥栄町	49	12%	37%	33%	18%
久美浜町	71	6%	44%	38%	13%
計	539	10%	38%	40%	12%

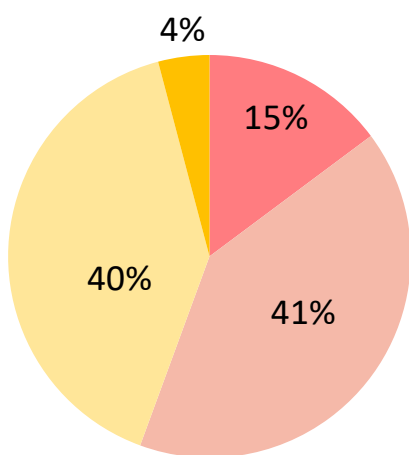


京丹後市

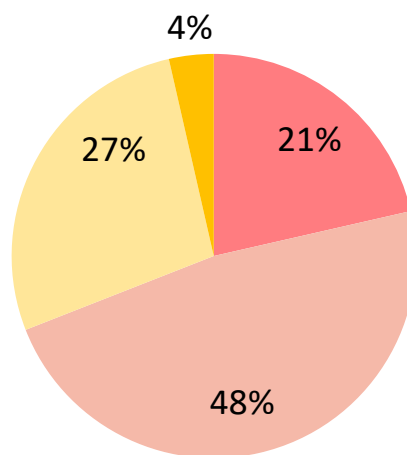


- 住みたい
- どちらかというと住みたい
- どちらかというと住みたくない
- 住みたくない

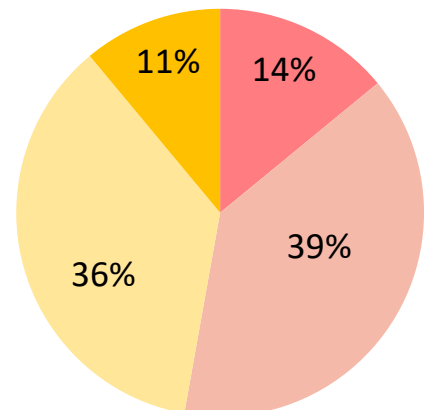
峰山町

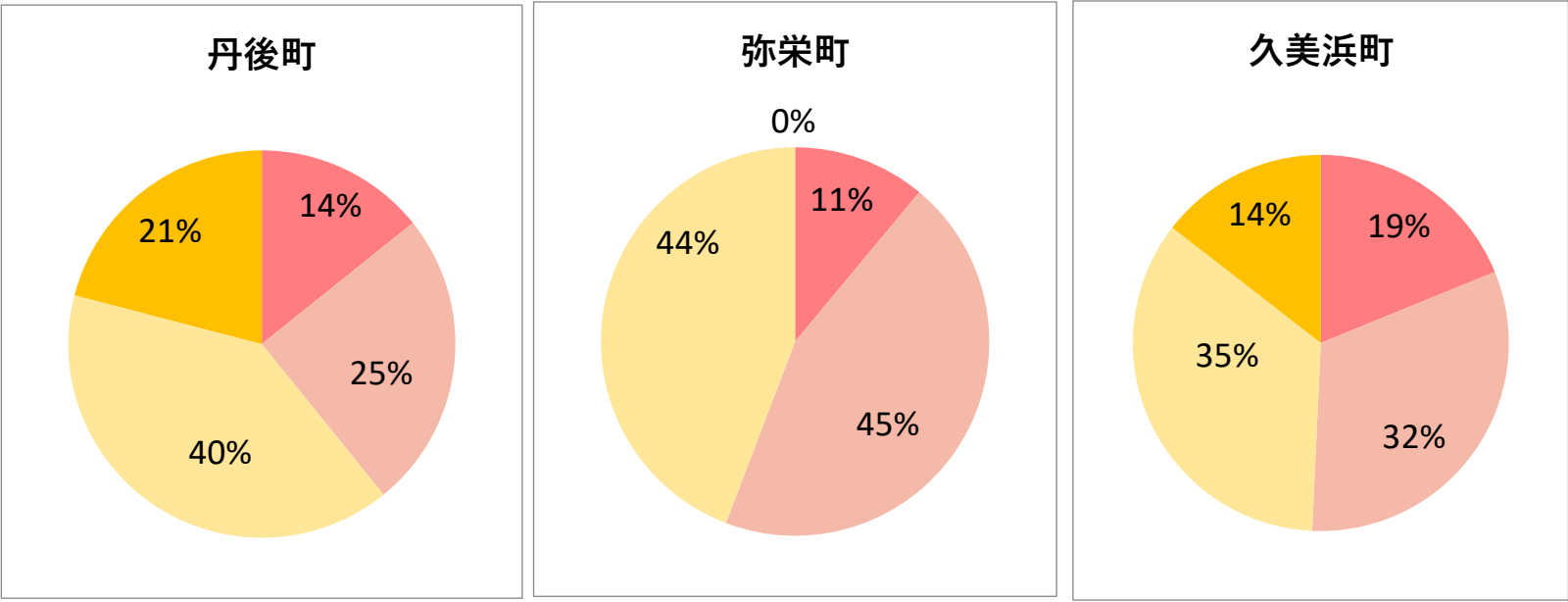


大宮町



網野町





《詳細結果》

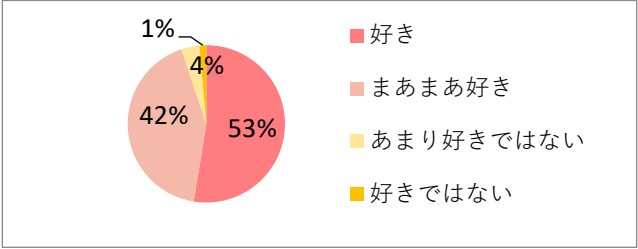
項 目	集計人数	6 町
好き	225	53%
①住みたい	64	28%
②どちらかというに住みたい	100	44%
③どちらかというに住みたくない	55	24%
④住みたくない	6	3%
まあまあ好き	181	42%
①住みたい	4	2%
②どちらかというに住みたい	67	37%
③どちらかというに住みたくない	94	52%
④住みたくない	16	9%
あまり好きではない	16	3.7%
①住みたい	1	6%
②どちらかというに住みたい	1	6%
③どちらかというに住みたくない	6	38%
④住みたくない	8	50%
好きではない	6	1.4%
②どちらかというに住みたい	1	17%
④住みたくない	5	83%
総計	428	100%

峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町
28%	22%	21%	6%	5%	18%
25%	27%	22%	6%	3%	17%
25%	24%	21%	5%	4%	21%
36%	16%	24%	4%	7%	13%
33%	0%	0%	50%	0%	17%
29%	17%	25%	7%	9%	13%
25%	50%	0%	0%	0%	25%
36%	21%	27%	3%	12%	1%
29%	13%	22%	10%	9%	18%
6%	19%	38%	13%	0%	25%
13%	19%	31%	6%	0%	31%
0%	0%	0%	0%	0%	100%
0%	100%	0%	0%	0%	0%
33%	33%	33%	0%	0%	0%
0%	0%	38%	13%	0%	50%
50%	0%	33%	0%	0%	17%
100%	0%	0%	0%	0%	0%
40%	0%	40%	0%	0%	20%
28%	20%	23%	7%	6%	16%
121	84	99	28	27	69

(3) 京丹後市が好きですか。

問1 「好き」、「まあまあ好き」、「あまり好きではない」、「好きではない」

- 好き 225人
- まあまあ好き 181人
- あまり好きではない 16人
- 好きではない 6人



◇京丹後市のまちづくりに関するアンケート調査結果

I 調査の概要及び回答者の属性

1. 調査の概要

(1) 調査目的

京丹後市まちづくり委員会の提言に基づき、将来の京丹後市を担う18歳未満を代表して、京丹後市内の高校に通う3年生を対象とした、京丹後市のまちづくりに関するアンケート調査を行い、ふるさとに対する意識、将来の定住や職業への意向、まちづくりに対する意見やアイデアを把握するため実施しました。

(2) 調査対象及び回収結果

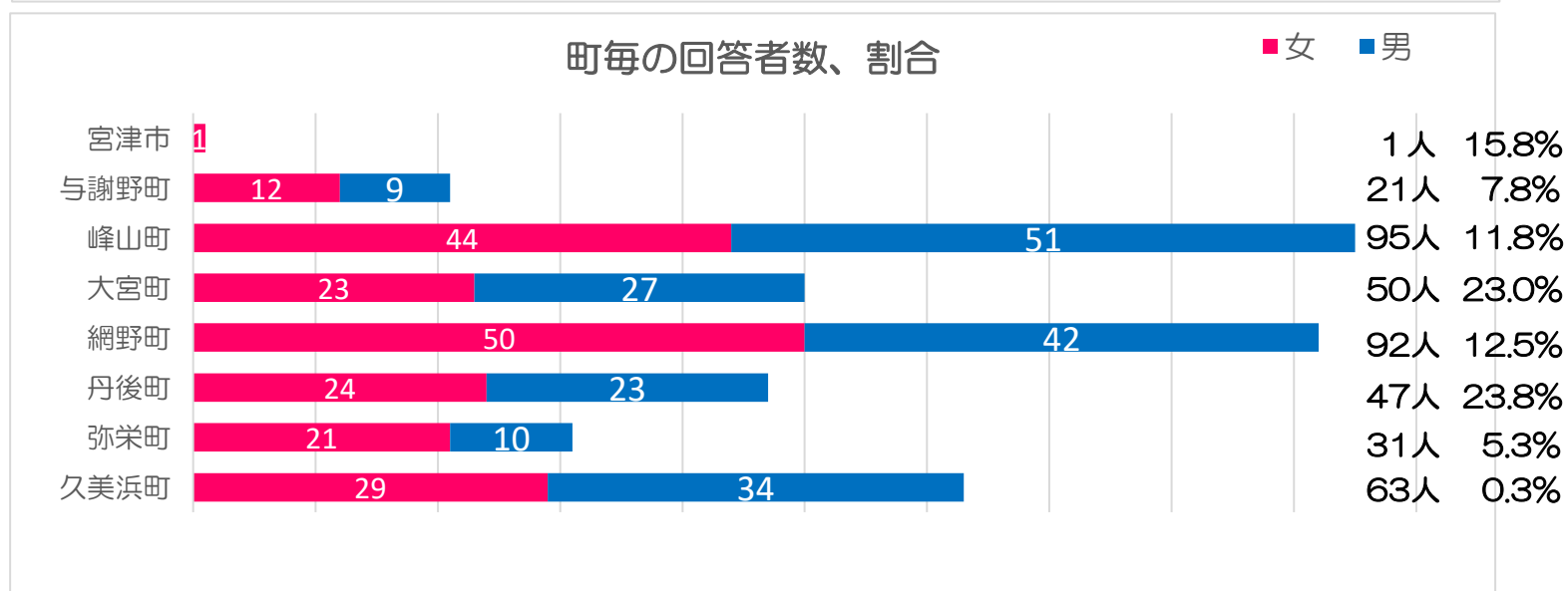
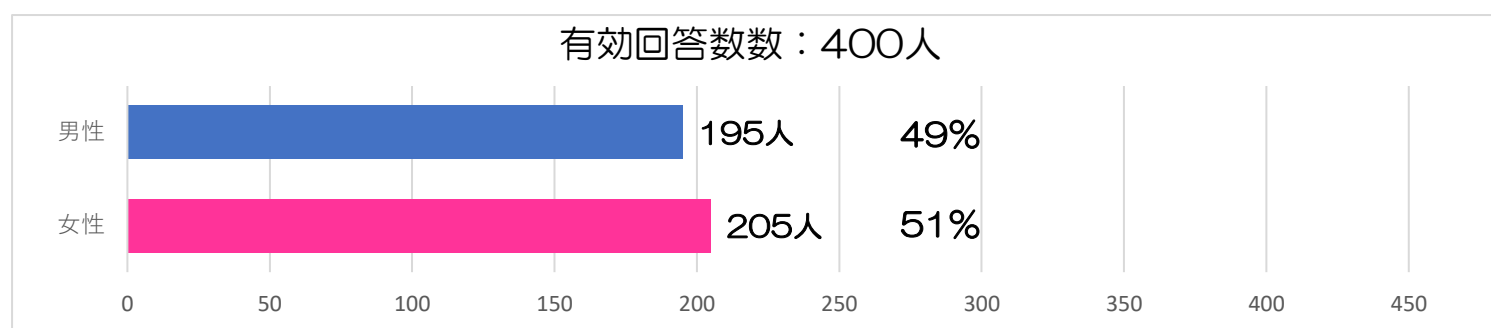
調査対象	市内の高校に在籍する3年生
調査方法	各高校での配布・回収
調査時期	令和2年11～12月

(3) 配布数及び回収結果

配布数	419 人
有効回答者数	400 人
有効回答率	95.5%

2. 回答者の属性

回答者462人の属性は、「男子：195人」（49%）、「女子：205人」（51%）となっており、町毎の回答人数は以下のとおりとなっております。



II アンケート調査結果について

1. 調査結果

(1) 丹後地域が好きか

問 1 あなたは、丹後が好きですか。

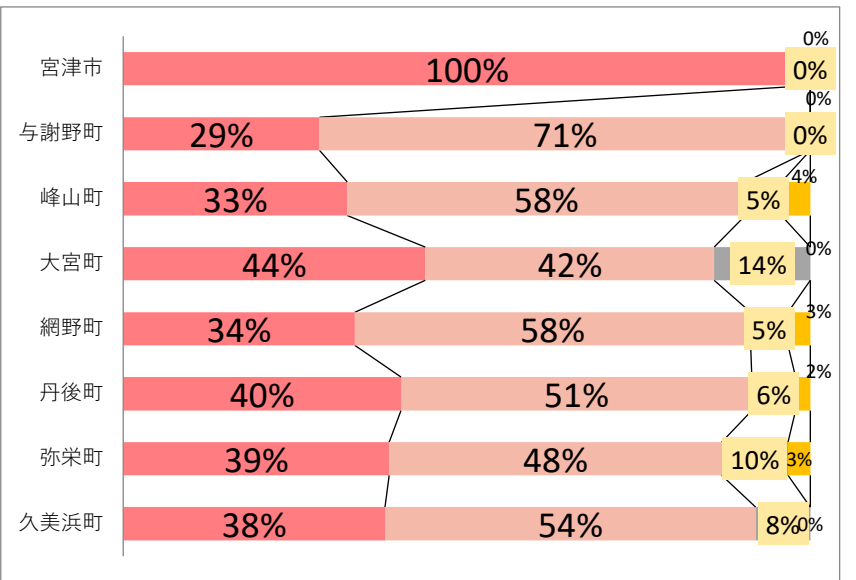
“好き” 「37%」 + “まあまあ好き” 「54%」 = 「91%」
⇒ **9割以上が丹後が好きと回答**

丹後地域に対する愛着度を把握するため、「好き」、「まあまあ好き」、「あまり好きではない」、「好きではない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「まあまあ好き」と答えた人が54%で最も多く、次いで「好き」と答えた人が37%でした。これらを合わせた**“好き”という人が91%と、9割以上に達しています**。これに対し、**“好きではない”**（「あまり好きではない」（7%）、「好きではない」（2%）の合計）と答えた人は**9%と1割を切っております**。

今年度の高校3年生は、平成29年度に中学3年生を対象に実施した「京丹後市のまちづくりに関するアンケート」に回答いただいた学年であり、3年間での愛着度の変化を比較したところ、「好き」「まあまあ好き」を合わせた回答者の割合は91%で3年間による変化はございません。しかし、「好き」と回答した人の割合は5%増え、**愛着度の強さは高くなった**と考えられます。

R2		好き		好きではない	
		91%		9%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
宮津市	1	100%	0%	0%	0%
与謝野町	21	29%	71%	0%	0%
峰山町	95	33%	58%	5%	4%
大宮町	50	44%	42%	14%	0%
網野町	92	34%	58%	5%	3%
丹後町	47	40%	51%	6%	2%
弥栄町	31	39%	48%	10%	3%
久美浜町	63	38%	54%	8%	0%
計	400	37%	54%	7%	2%

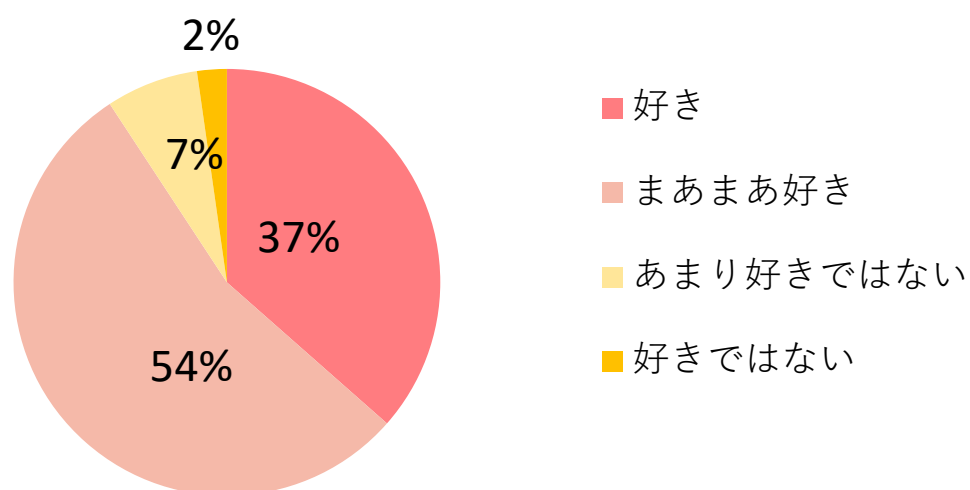


現在の高校3年生が3年前（中学3年生）の時に回答した同内容のアンケート結果
【平成29年度調査分（H30.3月実施）】

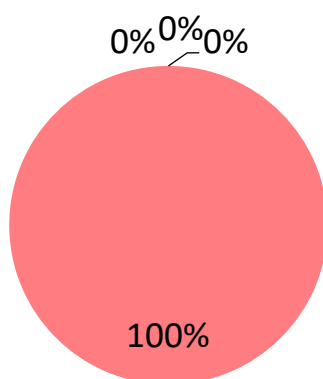
H29		好き		好きではない	
		91%		9%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
峰山町	126	41%	51%	6%	2%
大宮町	97	19%	70%	10%	1%
網野町	147	31%	63%	5%	1%
丹後町	49	49%	39%	12%	0%
弥栄町	49	24%	63%	10%	2%
久美浜町	71	31%	58%	11%	0%
計	539	32%	58%	8%	1%

中学3年時		高校3年時	
好き		好き	増減
峰山町	92%	91%	-1%
大宮町	89%	86%	-3%
網野町	94%	92%	-2%
丹後町	88%	91%	3%
弥栄町	87%	87%	0%
久美浜町	89%	92%	3%
計			0%

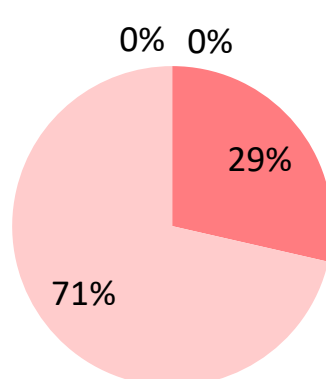
丹後地域



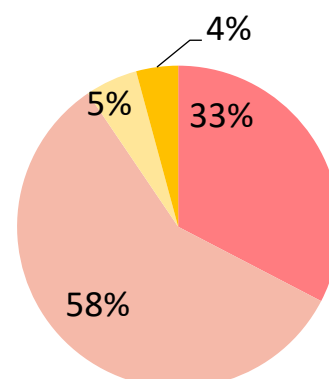
宮津市



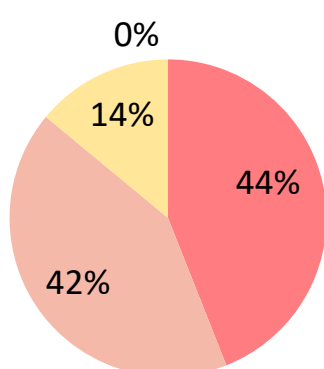
与謝野町



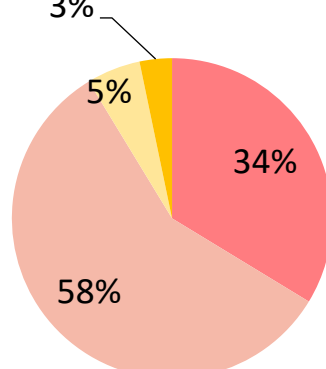
峰山町



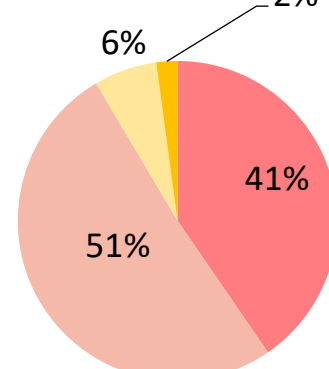
大宮町



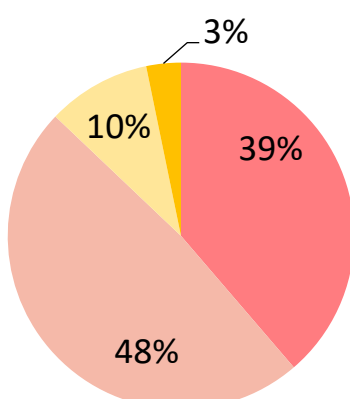
網野町



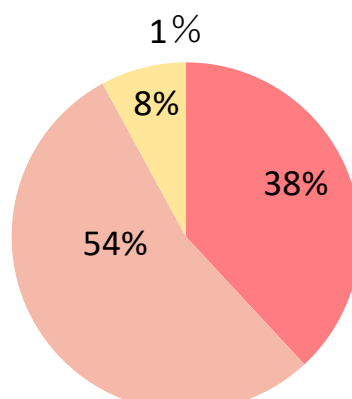
丹後町



弥栄町



久美浜町



(2) 丹後地域に住みたいか。

問2 あなたは将来的に丹後地域に住みたいと思いますか。

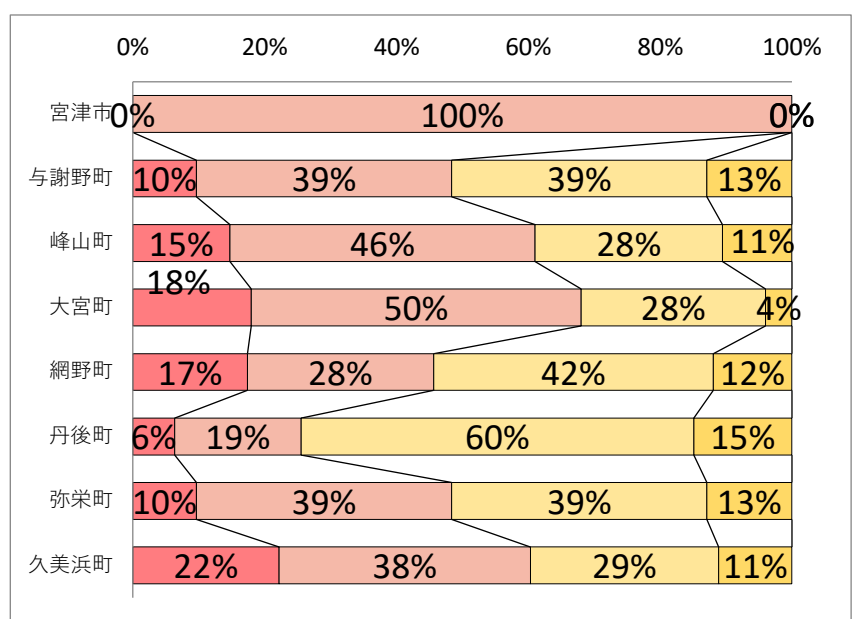
“住みたい”が「52%」「住みたくない」が「48%」。

高校生の将来の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかというに住みたい」、「どちらかというに住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらいました。

“住みたい”（「住みたい」（15%）、「どちらかというに住みたい」（37%）の合計）と答えた人が、52%で5割以上が将来への定住意向がある結果となりました。また、“住みたくない”（「住みたくない」（11%）、「どちらかというに住みたくない」（37%）の合計）と答えた人が48%で“住みたい”の割合の方が高い結果となりました。

また中学3年生時には「住みたい」「どちらかというに住みたい」を合わせた回答者の割合は48%でしたが、高校3年生までの3年間で4%増加し、52%の学生が「住みたい」という意向を示し、過半数を超える結果となりました。

R2		住みたい		住みたくない	
		52%		48%	
町	集計人数	住みたい	どちらかというに住みたい	どちらかというに住みたくない	住みたくない
宮津市	1	0%	100%	0%	0%
与謝野町	21	10%	39%	39%	13%
峰山町	95	15%	46%	28%	11%
大宮町	50	18%	50%	28%	4%
網野町	92	17%	28%	42%	12%
丹後町	47	6%	19%	60%	15%
弥栄町	31	10%	39%	39%	13%
久美浜町	63	22%	38%	29%	11%
計	400	15%	37%	37%	11%



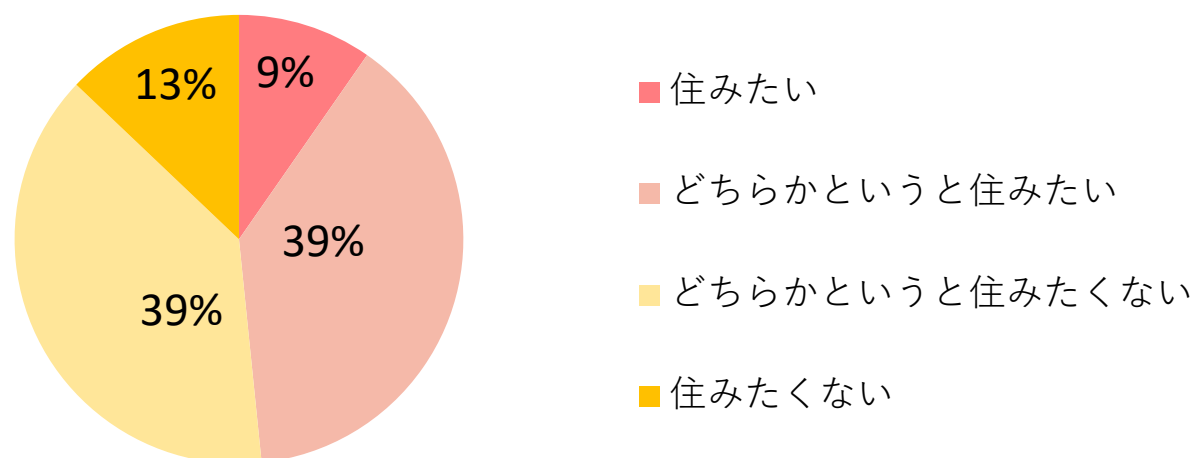
現在の高校3年生が3年前（中学3年生）の時に回答した同内容のアンケート結果

【平成29年度調査分（H30.3月実施）】

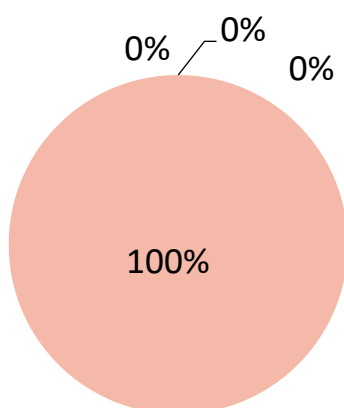
H29		住みたい		住みたくない	
		48%		52%	
町	集計人数	住みたい	どちらかというに住みたい	どちらかというに住みたくない	住みたくない
峰山町	126	15%	40%	36%	10%
大宮町	97	10%	41%	37%	11%
網野町	147	7%	29%	48%	16%
丹後町	49	8%	45%	41%	6%
弥栄町	49	12%	37%	33%	18%
久美浜町	71	6%	44%	38%	13%
計	539	10%	38%	40%	12%

中学 3 年時		高校 3 年時	
住みたい		住みたい	増減
峰山町	55%	61%	6%
大宮町	51%	68%	17%
網野町	36%	46%	10%
丹後町	53%	25%	-28%
弥栄町	49%	49%	0%
久美浜町	50%	60%	10%
		計	15%

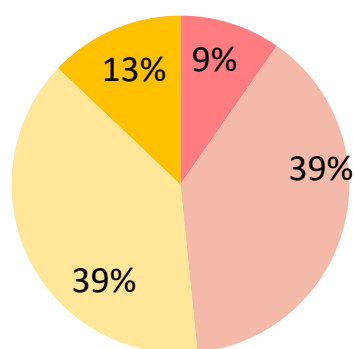
丹後地域



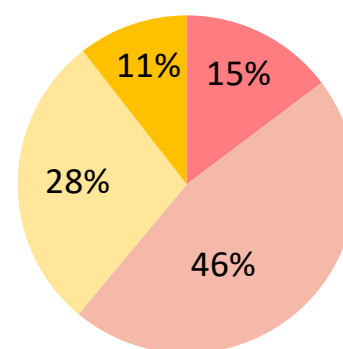
宮津市



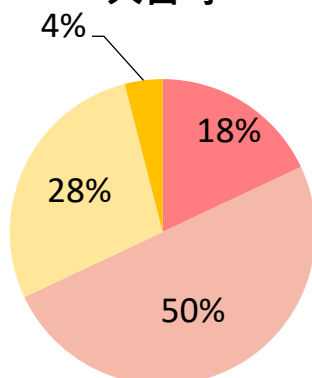
与謝野町



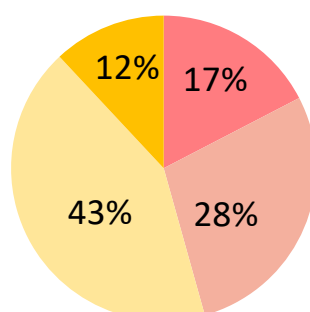
峰山町



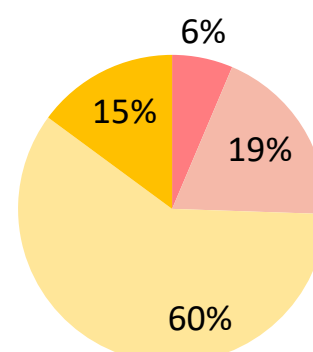
大宮町



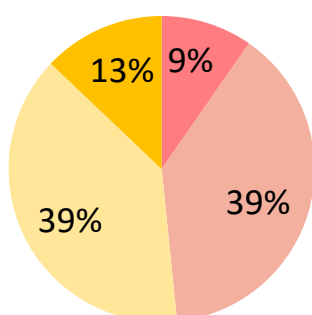
網野町



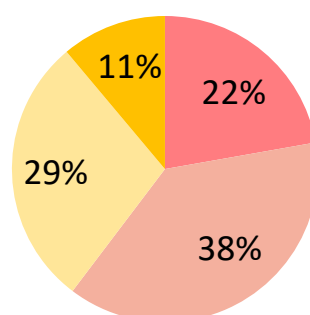
丹後町



弥栄町



久美浜町



《詳細結果》

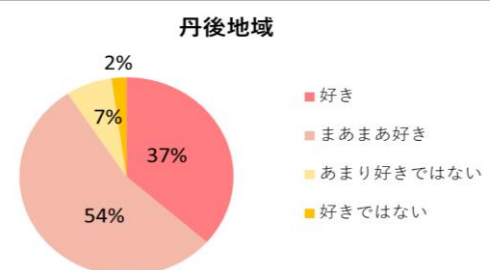
項 目	集計人数	6 町＋ 宮津市 ＋与謝 野町
好き	146	37%
①住みたい	48	33%
②どちらかというに住みたい	62	42%
③どちらかというに住みたくない	31	21%
④住みたくない	5	3%
まあまあ好き	217	54%
①住みたい	12	6%
②どちらかというに住みたい	83	38%
③どちらかというに住みたくない	98	45%
④住みたくない	24	11%
あまり好きではない	28	7%
②どちらかというに住みたい	5	18%
③どちらかというに住みたくない	17	61%
④住みたくない	6	21%
好きではない	9	2%
①住みたい	2	22%
④住みたくない	7	78%
総計	400	100%

宮津市	与謝野町	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町
1%	5%	17%	15%	12%	21%	21%	8%
0%	4%	21%	17%	6%	21%	25%	6%
2%	6%	21%	16%	8%	31%	10%	6%
0%	3%	3%	10%	26%	3%	42%	13%
0%	0%	20%	20%	20%	20%	0%	20%
0%	7%	16%	10%	11%	25%	25%	6%
0%	8%	42%	0%	0%	17%	33%	0%
0%	8%	13%	14%	5%	30%	20%	8%
0%	6%	16%	8%	17%	22%	26%	4%
0%	4%	13%	4%	13%	25%	33%	8%
0%	0%	21%	21%	14%	18%	14%	11%
0%	0%	0%	60%	0%	0%	40%	0%
0%	0%	12%	18%	12%	29%	12%	18%
0%	0%	67%	0%	33%	0%	0%	0%
0%	0%	0%	0%	11%	56%	22%	11%
0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%
0%	0%	0%	0%	14%	43%	29%	14%
0%	6%	17%	12%	12%	24%	23%	7%

(3) 丹後が好きですか。

問 1 「好き」、「まあまあ好き」、「あまり好きではない」、「好きではない」

好き	146人
まあまあ好き	217人
あまり好きではない	28人
好きではない	9人



問 1－1 その理由（自由記述） ※主な回答

＜好き＞	146人
●自然が豊か、きれいだから	70
●地域の人優しい、あたたかい、親切	20
●食べ物（米、野菜、果物）がおいしい	42
●空気がきれい	6
●静かなところ	7
●田舎だから	7
●地元だから	4
●今の生活が楽しいから	2
●落ち着くから	13
●友達がいっぱいいるから	

令和2年度施設利用状況表

公益財団法人丹後地域地場産業振興センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和2年度計	令和元年度計	対前年度比
多目的ホール	1 1 100	1 1 130	2 2 200	12 12 260	3 3 260	3 3 240	2 3 260	2 2 140	3 4 320	1 1 270	2 2 400	9 9 665	41 43 3,245	64 66 8,000	64% 65% 41%
視聴覚室	0 0 0	0 0 0	1 1 70	0 0 0	0 0 0	0 0 0	2 2 60	4 4 320	4 4 100	0 0 0	3 3 130	1 1 50	15 15 730	27 29 2,255	56% 52% 32%
研修室 A	2 2 45	0 0 0	1 1 8	4 4 183	6 6 150	4 4 130	10 10 214	7 7 185	5 5 86	3 3 51	6 7 123	5 5 85	53 54 1,260	120 124 3,050	44% 44% 41%
研修室 B	0 0 0	0 0 0	1 1 2	0 0 0	0 0 0	1 1 20	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	1 1 10	3 3 32	0 0 0	
工芸図書資料室	2 2 20	0 0 0	2 2 60	3 3 20	2 2 40	4 4 44	1 1 20	3 3 45	3 3 20	4 4 65	0 0 0	7 7 90	31 31 424	61 63 1,013	51% 49% 42%
(以上2～3室一括)	0 0 0	0 0 0	6 6 150	2 2 60	6 6 110	2 2 50	5 5 123	5 5 120	4 4 150	2 2 45	1 1 130	4 4 56	37 37 994	54 54 3,365	69% 69% 30%
コンピュータ研修室	8 8 129	7 7 98	9 9 105	40 10 13	12 12 165	9 9 105	7 7 82	16 16 242	11 11 132	9 9 125	10 10 140	14 15 163	152 123 1,499	136 141 2,371	112% 87% 63%
講座室 A	0 0 0	1 1 20	0 0 0	1 1 10	3 3 40	1 1 10	2 2 40	1 1 10	3 3 25	1 1 30	0 0 0	1 1 10	14 14 195	16 16 318	88% 88% 61%
講座室 B	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	
(以上2室一括)	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	3 3 75	1 1 40	1 1 50	0 0 0	1 1 30	0 0 0	1 1 30	4 5 52	11 12 277	26 27 1,334	42% 44% 21%
小計	13 13 294	9 9 248	22 22 595	62 32 546	35 35 840	25 25 639	30 31 849	38 38 1,062	34 35 863	20 20 586	23 24 953	46 48 1,181	357 332 8,656	504 520 21,706	71% 64% 40%
展示即売室	1,830	800	3,130	4,300	5,360	3,770	4,040	4,860	4,620	2,370	2,720	4,060	41,860	51,350	82%
食堂(シルク)	1,499	962	1,314	1,540	1,566	1,466	1,433	1,533	1,273	923	1,038	1,294	15,841	20,278	78%
研究開発棟	14	6	22	37	39	54	27	113	64	20	20	32	448	1,252	36%
来場・使用者 合計	3,637	2,016	5,061	6,423	7,805	5,929	6,349	7,568	6,820	3,899	4,731	6,567	66,805	94,586	71%
貸室稼働日数	12	7	16	19	21	20	14	22	20	15	17	23	206	278	74%
バス数	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	6	11	55%
マイクロバス数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0%

上段:稼働日数
中段:使用件数
下段:来場及び使用者数

令和2年度 京丹後市立図書館 月報

所蔵資料数(点)	月	峰山図書館						あみの図書館						大宮図書室						弥栄図書室						丹後図書室						久美浜図書室						合 計					
		一般書	児童書	AV	雑誌	相貸 その他	合計	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸 その他	合計	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸 その他	合計	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸 その他	合計	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸 その他	合計	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸 その他	合計	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸 その他	合計
	4月	48,221	30,691	746	1,873	0	81,531	62,830	39,150	1,474	4,493	0	107,947	15,981	18,094	1	2,266	0	36,342	12,326	14,457	1	1,080	0	27,864	13,686	13,648	1	727	0	28,062	15,074	12,863	3	787	0	28,727	168,118	128,903	2,226	11,226	0	310,473
	5月	48,347	30,730	746	1,820	0	81,643	62,943	39,228	1,474	4,547	0	108,192	16,013	18,131	1	2,278	0	36,423	12,332	14,466	1	1,093	0	27,892	13,708	13,667	1	836	0	28,212	15,135	12,881	3	781	0	28,800	168,478	129,103	2,226	11,355	0	311,162
	6月	48,427	30,792	747	1,889	0	81,855	63,027	39,300	1,474	4,590	0	108,391	16,058	18,182	1	2,290	0	36,531	12,352	14,509	1	1,101	0	27,963	13,494	13,721	1	805	0	28,021	15,160	12,915	3	791	0	28,869	168,518	129,419	2,227	11,466	0	311,630
	7月	48,479	30,852	748	1,938	0	82,017	63,144	39,376	1,474	4,637	0	108,631	16,079	18,213	1	2,301	0	36,594	12,365	14,534	1	1,092	0	27,992	13,508	13,764	1	819	0	28,092	15,185	12,953	3	803	0	28,944	168,760	129,692	2,228	11,590	0	312,270
	8月	48,557	30,896	748	1,961	0	82,162	63,214	39,425	1,474	4,678	0	108,791	16,103	18,238	1	2,318	0	36,660	12,389	14,555	1	1,099	0	28,044	13,506	13,794	1	834	0	28,135	15,220	12,981	3	811	0	29,015	168,989	129,889	2,228	11,701	0	312,807
	9月	48,680	31,060	748	1,987	0	82,475	63,101	38,944	1,474	4,697	0	108,216	16,142	18,318	1	2,333	0	36,794	12,427	14,637	1	1,114	0	28,179	13,553	13,988	1	840	0	28,382	15,320	13,144	3	861	0	29,328	169,223	130,091	2,228	11,832	0	313,374
	10月	49,002	31,178	748	1,820	0	82,748	63,205	38,861	1,474	4,245	0	107,785	16,167	18,341	1	2,237	0	36,746	12,449	14,675	1	1,002	0	28,127	13,362	14,026	1	740	0	28,129	15,363	13,180	3	724	0	29,270	169,548	130,261	2,228	10,768	0	312,805
	11月	49,034	31,212	748	1,838	0	82,832	63,259	38,824	1,474	4,288	0	107,845	16,194	18,362	1	2,248	0	36,805	12,473	14,690	1	1,013	0	28,177	13,426	14,146	1	761	0	28,334	15,387	13,206	3	738	0	29,334	169,773	130,440	2,228	10,886	0	313,327
	12月	49,081	31,257	750	1,867	0	82,955	63,341	38,932	1,474	4,338	0	108,085	16,246	18,572	2	2,262	0	37,082	12,496	14,716	1	1,024	0	28,237	13,505	14,238	1	786	0	28,530	15,430	13,231	3	755	0	29,419	170,099	130,946	2,231	11,032	0	314,308
	1月	49,165	31,402	762	1,886	0	83,215	63,456	38,860	1,474	4,394	0	108,184	16,260	18,597	2	2,279	0	37,138	12,509	14,724	2	1,037	0	28,272	13,540	14,273	1	805	0	28,619	15,484	13,246	3	795	0	29,528	170,414	131,102	2,244	11,196	0	314,956
	2月	49,238	31,444	762	1,909	0	83,353	63,565	38,920	1,483	4,436	0	108,404	16,274	18,614	2	2,288	0	37,178	12,533	14,767	2	1,043	0	28,345	13,726	14,456	1	818	0	29,001	15,563	13,273	3	807	0	29,646	170,899	131,474	2,253	11,301	0	315,927
	3月	48,944	31,048	762	1,929	0	82,683	60,485	36,831	1,488	4,242	0	103,046	15,730	18,501	2	2,304	0	36,537	12,429	14,681	2	1,058	0	28,170	13,747	14,436	1	851	0	29,035	15,106	12,243	3	804	0	28,156	166,441	127,740	2,258	11,188	0	307,627

貸出資料数(点)	月	個人						個人						個人						個人						個人						個人						個人					
		一般書	児童書	AV	雑誌	相貸	団体	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸	団体	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸	団体	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸	団体	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸	団体	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸	団体	一般書	児童書	AV	雑誌	相貸	団体
	4月	1,005	1,139	18	203	56	962	1,769	1,919	36	267	24	2,620	837	1,516	2	111	53	86	508	619	0	60	13	400	470	637	0	47	15	130	707	912	1	96	14	808	5,296	6,742	57	784	175	5,006
	5月	643	672	12	104	4	2,151	972	1,128	24	140	17	2,293	535	903	1	61	6	1,463	274	309	0	43	1	1,056	209	362	0	37	6	108	428	464	0	54	4	519	3,061	3,838	37	439	38	7,590
	6月	1,554	1,743	41	399	115	2,297	2,588	2,986	30	332	43	2,137	1,127	2,262	2	160	70	1,133	698	951	4	60	39	815	469	954	0	65	47	518	959	1,365	1	148	26	556	7,395	10,261	78	1,164	340	7,456
	7月	1,669	2,337	49	298	120	2,263	3,004	3,606	41	430	43	923	1,350	2,995	4	180	63	717	812	1,050	0	77	37	479	538	939	1	102	40	445	1,050	1,652	0	198	46	984	8,423	12,579	95	1,285	349	5,811
	8月	1,694	2,514	42	377	106	2,127	3,049	4,576	56	421	42	2,168	1,476	3,165	0	180	49	971	774	1,035	0	78	45	1,074	533	1,143	0	102	43	126	995	1,658	0	190	25	216	8,521	14,091	98	1,348	310	6,682
	9月	1,677	2,235	42	324	137	2,263	2,776	3,737	58	450	52	2,186	1,233	2,510	4	146	41	1,324	864	866	0	74	30	809	501	996	0	70	37	563	1,008	1,541	0	210	45	782	8,059	11,885	104	1,274	342	7,927
	10月	1,626	2,462	26	331	135	2,978	3,058	4,012	55	452	83	1,903	1,213	2,776	10	175	58	553	1,029	1,156	0	75	66	551	74	237	0	3	0	17	1,071	1,964	0	236	51	778	8,071	12,607	91	1,272	393	6,780
	11月	1,418	2,192	25	269	89	1,899	2,726	3,556	47	388	58	1,710	1,019	2,529	4	121	42	1,184	837	939	0	66	28	807	875	1,770	0	108	21	526	871	1,619	0	133	25	606	7,746	12,605	76	1,085	263	6,732
	12月	1,457	2,121	42	286	124	845	2,816	3,272	47	452	57	2,287	1,139	2,210	4	162	57	867	991	927	0	83	53	832	808	1,279	0	90	33	621	964	1,553	0	153	30	939	8,175	11,362	93	1,226	354	6,391
	1月	1,708	2,323	34	270	216	2,149	3,090	3,214	32	470	73	1,312	1,339	2,866	3	164	85	905	832	945	0	53	29	189	782	1,150	0	103	35	463	1,298	1,773	1	214	42	198	9,049	12,271	70	1,274	480	5,216
	2月	1,699	2,198	30	270	105	2,132	3,260	3,282	56	390	52	1,147	1,449	2,721	1	141	49	883	831	1,021	0	84	27	788	869	1,222	1	126	28	900	1,302	1,951	1	199	26	798	9,410	12,395	89	1,210	287	6,648
	3月	1,676	2,269	33	298	147	468	3,139	3,320	86	441	74	206	1,529	3,061	2	157	74	464	777	1,150	2	61	41	142	812	1,128	1	88	38	71	1,208	1,756	0	221	25	179	9,141	12,684	124	1,266	399	1,530
	小計	17,826	24,205	394	3,429	1,354		32,247	38,608	568	4,633	618		14,246	29,514	37	1,758	647		9,227	10,968	6	814	409		6,940	11,817	3	941	343		11,861	18,208	4	2,052	359		92,347	133,320	1,012	13,627	3,730	
	計	47,208						76,674						46,202						21,424						20,044						32,484						244,036					
	合計	69,742						97,566						56,752						29,366						24,532						39,847						317,805					

貸出者数(人)	月	個人	団体						個人
---------	---	----	----	--	--	--	--	--	----

令和2年度 網野社会体育施設利用回数及び人数

(社会体育施設)	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
体育室	28	679	1	15	51	2,439	60	1,296	58	1,417	64	1,439	53	1,155	55	1,386	68	1,605	54	674	48	732	58	1,271	598	14,108
剣道室	7	75	0	0	32	334	39	383	13	160	25	269	28	291	32	337	26	254	4	40	8	91	28	433	242	2,667
柔道室	11	215	0	0	29	483	27	308	19	335	34	702	39	720	20	371	25	503	7	76	12	249	26	601	249	4,563
テニスコート	2	8	1	6	13	155	16	195	22	196	24	252	17	157	29	178	13	117	2	12	5	26	0	0	144	1,302
三津体育館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三津グラウンド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
網野グラウンド	28	1,104	0	0	53	1,565	46	1,900	57	2,000	83	3,095	26	805	53	2,025	46	1,685	23	1,380	41	1,988	0	0	456	17,547
屋内ゲートボール場	4	40	0	0	6	60	7	70	6	60	7	70	9	90	8	80	7	70	6	60	0	0	0	0	60	600
橘体育館(旧橘小)	2	14	1	8	8	76	6	48	7	58	5	81	6	60	7	725	2	15	2	18	1	10	3	19	50	1,132
橘グラウンド(旧橘小)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	102
郷体育館(旧郷小)	2	40	0	0	13	244	8	140	5	95	20	469	17	228	13	137	11	113	13	52	16	61	21	215	139	1,794
郷グラウンド(旧郷小)	0	0	0	0	1	25	1	25	1	25	6	180	2	70	1	25	0	0	1	25	0	0	0	0	13	375
社会小計(A)	84	2,175	3	29	206	5,381	210	4,365	188	4,346	268	6,557	199	3,678	218	5,264	198	4,362	112	2,337	131	3,157	136	2,539	1,953	44,190

(学校体育施設)

網野中学校																										
体育館	4	75	0	0	14	280	16	310	16	340	18	355	22	415	22	454	17	330	7	97	2	50	13	260	151	2,966
屋外運動場	0	0	1	15	8	97	6	72	8	141	14	152	14	154	4	43	0	0	0	0	0	0	4	40	59	714
格技場	0	0	0	0	2	30	2	30	2	30	2	30	2	30	3	40	2	30	0	0	0	0	7	95	22	315
橘小学校(旧橘中)																										
体育館	8	104	0	0	35	665	30	598	28	462	35	765	44	770	30	592	32	624	12	266	5	100	25	565	284	5,511
屋外運動場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	310	3	300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	610
格技場	0	0	0	0	17	370	17	346	8	80	17	395	18	405	17	370	15	350	15	370	0	0	0	0	124	2,686
網野北小学校																										
体育館	0	0	1	10	29	1,790	4	40	1	10	5	140	3	30	4	40	4	40	2	20	0	0	1	10	54	2,130
屋外運動場	0	0	0	0	25	1,750	28	1,920	28	1,960	28	1,920	27	1,890	20	1,400	24	1,680	4	280	13	910	37	2,150	234	15,860
網野南小学校																										
体育館	4	80	4	106	37	964	30	590	42	980	21	500	20	485	22	510	23	550	7	180	16	382	26	620	252	5,947
屋外運動場	0	0	2	50	8	200	19	520	9	270	26	920	22	1,100	17	510	8	240	6	180	13	355	0	0	130	4,345
格技場	8	68	0	0	17	290	0	0	0	0	13	114	14	120	11	109	12	104	5	42	0	0	10	88	90	935
島津小学校																										
体育館	3	24	0	0	4	32	5	40	0	0	2	20	8	72	3	24	4	32	0	0	0	0	2	16	31	260
屋外運動場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30
学校小計(B)	27	351	8	181	196	6,468	157	4,466	142	4,273	187	5,621	198	5,801	153	4,092	141	3,980	58	1,435	49	1,797	125	3,844	1,441	42,309
合計(A)+(B)	111	2,526	11	210	402	11,849	367	8,831	330	8,619	455	12,178	397	9,479	371	9,356	339	8,342	170	3,772	180	4,954	261	6,383	3,394	86,499

京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議 委員名簿

(敬称略)

	分 類	所属団体	役 職	氏 名	備 考
1	網野町区長連絡協議会	網野町区長連絡協議会	会長	柴田 隆行	副委員長
2		網野町区長連絡協議会	副会長	足達 純一	
3	網野町区長連絡協議会から推薦のあった者	網野町区長連絡協議会から推薦のあった者	前区長	沖佐々木 義久	
4		網野町区長連絡協議会から推薦のあった者		松本 昌子	
5		網野町区長連絡協議会から推薦のあった者		濱岡 文子	
6		網野町区長連絡協議会から推薦のあった者		小林 朝子	
7	商工関係	京丹後市商工会	理事	森 政博	
8	観光関係	京丹後市観光公社	理事長	齊藤 修司	
9	社会福祉関係	京丹後市老人クラブ連合会 網野支部	女性委員長	山崎 慶子	
10	文化関係	京丹後市文化協会	副会長	田中 匡代	
11	子育て関係	網野小中一貫校PTA	副代表	志水 美咲	
12	女性活躍関係	京丹後市女性連絡協議会	会長	梅田 豊子	副委員長
13	その他公共的団体等	一般社団法人 京丹後青年会議所	未来創造委員会 委員	中川 正樹	
14	学識経験者	福知山公立大学 地域経営学部	准教授	杉岡 秀紀	委員長

○京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議設置要綱

令和 3 年 7 月 1 2 日

告示第 2 1 5 号

改正 令和 3 年 8 月 3 0 日告示第 2 3 0 号

(設置)

第 1 条 京丹後市旧網野庁舎の跡地について、地域拠点としての活用を検討し、京丹後市網野庁舎跡地活用構想を策定するために、京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 検討会議の所掌事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 京丹後市網野庁舎跡地活用構想の検討及び策定に関すること。
- (2) 前号に定めるもののほか、京丹後市網野庁舎跡地活用に関すること。

(組織)

第 3 条 検討会議は、委員 1 4 人以内とし、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 網野町区長連絡協議会の委員
- (2) 文化、子育て、女性活躍等に関する団体その他公共的団体等の代表者又は役職員
- (3) 網野町区長連絡協議会から推薦のあった者
- (4) 知識経験を有する者
- (5) 前 4 号に定めるもののほか、市長が特に適当と認める者

(任期)

第 4 条 委員の任期は、市長が委嘱した日から 2 年以内とする。ただし、市長が必要と認めるときは、その任期を延長することができる。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 検討会議に委員長 1 人及び副委員長 2 人以内を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、会務を総理し、検討会議を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 検討会議の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 検討会議は、委員定数の3分の2以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 検討会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、検討会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(庶務)

第7条 検討会議の庶務は、市長公室網野市民局において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、令和3年7月12日から施行する。

(最初の検討会議の招集)

- 2 第3条第1項に規定する委員をもって組織される検討会議の最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

附 則 (令和3年8月30日告示第230号)

この告示は、令和3年9月1日から施行する。